大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和十三年一月二十八日 新京日日新聞 （金曜日） 第五千三百九十六號 （一）

新京日日新聞
夕刊
一月二十七日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

イタリーはあく迄日本を絶對支持
ム首相、中野正剛氏に語る

【東京國通】遣歐使節中野正剛氏はローマにてムソリーニ首相との會見記を東日に寄せてゐるが、その中に左の如きムソリーニ首相の言葉が報ぜられてゐる

今度の支那事變に對しては自分は最初から絶對に日本を支持してゐる、日本民族の切なる惱み、日本民族の向上心、それは飽滿せるデモクラシー諸國に優りてイタリー人の最もよく理解するところである、自分は「支那の國民よ、日本を敵視することを止めよ」といひたい、何を頼りに日本と戰ふのか、長期抵抗を繼續するか、日本は經濟的に參つたなどゝいふことは全く夢である、エチオピア事件の時にもデモクラシー列國はイタリーに對して同じやうなことをいつた、しかし窓を開けて外を見よ、ローマは斯の如く繁榮し、イタリーの工場は夜を日についで働き續けてゐる、支那の軍要地域は日本軍の手に歸し、海關も日本によつて支配せられてゐるであらう、その期に及びて何れの國も君達の國を助けて呉れるものはない、支那は日本の指導を受け、日本とゝもに永遠の策を樹てるがよい、かく君達にいふのは決してつれなく支那に當るのではない、これが眞實の親切であるイタリー政府は終始この通りである

在鮮中國居留民日本居住者に飛檄
新政權絶對支持を慫慂す

【京城國通】在鮮中華商會幹部は半島三萬の中華民國人が一致團結中國臨時政府を支持日支親善の巨歩を踏出せるに拘らず内地在住同胞の新政權支持が遲々として進まないのを頗る遺憾とし、その促進對策を協議中であつたが、廿五日鮮内在留中國人一同の名において内地中國人各團體宛卅數通の「日本内地居住僑民諸君に檄す」と題する長文の檄を飛ばし

諸君も必ずや吾等と同一の心理にあるも因習と諸種の事情の下にその態度表明を躊躇逡巡してゐるものと推察す、然し諸君の躊躇逡巡は中華民國の安定と東洋永遠の平和確立に甚大の影響を及ぼすのみならず、却つて日本朝野より未だ國民政府に憐愍の情を持ち、同時に容共抗日の意識を有する如き誤解を受くるおそれ多分にあり、諸君は速かに五色旗を揭揚して希望に滿ちる華北臨時政府の麾下に參加することを誓ひ、中國四億の民の待望久しかりし安住樂土の中華民國建設に協力せられるとゝもに日支提携もつて東洋永遠の平和確立に貢獻せられんことを切望してやまぬ

と述べ内地同胞の斷乎新政權參加を要望した

小癪にも三機杭州に來襲
忽ち一機は江上に撃墜さる

【上海廿六日發國通】三機編隊の敵機は廿六日午後四時半杭州上空に飛來したが、忽ちわが防空砲火のためその内一機は錢塘江上に撃墜せられ、殘る二機は周章狼狽東北に向け遁走した、敵機の杭州攻撃はわが軍の占領以來最初である

操縱者は死體檢視の結果ソ聯飛行士なること判明せり

南京飛來機はソ聯飛行士

【南京廿六日發國通】その後の調査によれば廿六日朝南京上空に飛來した敵機は、二五〇瓩、一五〇瓩の爆彈數個を投下したが何れもわが方に被害なし、また撃墜した敵機の

揚子江對岸地區敵の損害

【上海廿六日發國通】軍報道部廿六日午後六時發表＝南京攻略から揚子江對岸地區に奮戰せるわが軍の一月廿二日までに交戰せる敵兵の死傷損害左の如し

一、遺棄死體約一千四百
一、鹵獲小銃、大砲約八十門
一、わが損害戰死傷約六十

死體百五十を遺棄して潰走

【滁縣廿六日發國通】廿六日午前八時頃滁縣西方二十二粁大柳鎭の田代部隊の前面に第百三十八師所屬の敵八百が逆襲し來つたが交戰二時間の後死體百五十を遺棄して潰走した、わが軍の損害は負傷四名である

敗走の敵殲滅中

【朱龍橋廿六日發國通】廿六日午前五時十分迫撃砲二門を有する敵五百が朱龍橋西南方より來襲し來り、わが田代部隊は直ちに應戰し、これを撃退したが目下敗走の敵を壞滅中である、敵の遺棄死體二百わが方の損害は高橋銀衛上等

蔣介石敗戰の責を前線將領に轉嫁
死刑、免職相つぐ

【上海廿六日發國通】蔣介石は對日抗戰失敗の責を前線出動將領に轉嫁し韓復榘をはじめ地方軍多數の將領に對し假藉なき處罰を續けてゐるが、現在までに判明せる主なるもの左の如し

死刑

第六十八師長李服膺（戰線放棄）、旅長高仰如（臨陣退縮）、軍法處長王志鵠（戰線逃亡）、師長王守輿（命に背き退却）、師長李發（臨陣退縮）、大隊長謝國雄（命に背き退却）、大隊長余琢如（命に背き退却）、大隊長曾國祥（防戰失敗）通信部長蔣芝蘭（命に背き退却）

免職

軍長劉和鼎（作戰に努めず）なほ右のほか免職副總司令一、師長十二、旅長五、參謀長以下十二の多數に上つてゐる

對支援助問題で
孫科、リトヴィノフ會見

【上海廿七日發國通】外人側消息によれば去る十九日モスクワに到着した國民政府遣歐特使孫科は直ちに猛烈な活動を開始し、同地外交界の注目を惹いてゐるが、既に外務人民委員リトヴィノフ氏と數回にわたつて會見を遂げ、殊に去る廿三日は午前、午後にわたつて長時間密議を重ね、その際リトヴィノフ氏は孫科に對し

一、國民政府はソ聯邦に對し結局如何なる程度の援助を要求するか
一、右援助に際し國民政府はソ聯邦に如何なる代償を與へんとするか

の二點について明確なる表示を求めた、これに對し孫科はソ聯に與へ得る代償に關しては即答する能はずとなし、明示することを避けたといはれる、しかして孫科としては本國の緊迫せる敗戰狀態を顧み一日も早くその積極的援助を實行に移されんことを熱望してゐるが、ソ聯としてはこの機に政治的、經濟的の確固たる代償を求めんとするのであるから今後リトヴィノフ氏と孫科との會見の結果は各方面より多大の注目を集めてゐる

原則確立を獨紙報道

【ベルリン廿六日發國通】フエルキツシヤ・ベオバハター紙がモスクワよりの情報として傳へるところによれば國民政府特使孫科とソヴイエト政府との數次に亘る會議の結果ソ支協定に關し左の原則が確立されたといはれる

一、ソヴイエト政府は外蒙に對する支那の主權を認め國民政府がウランバートルに代表を派遣しこれを外蒙政府の一員たらしむることに同意する
二、外蒙軍とソヴイエトの駐屯軍とを合せ外蒙の兵力は現在二十萬に達するがソヴイエト政府は、國民政府にさらに二百萬ルーブルのクレヂツトを與へその他の物資を供給する
三、國民政府に對するソヴイエトの軍事教官を增員する
四、以上の代償として國民政府はソヴイエトに或種の通商權益を與へる

傷兵保護對策いよく成る
軍事援護相談所も設置

【東京國通】出征軍人遺族ならびに戰傷勇士に對する保護問題について厚生省社會局で種々對策を練つてゐたが、廿七日出來上る傷兵保護對策の確立をもつて本年度豫算に含まれる對策が大體一段落を告げる事になつた、それによるとまづ遺族に對する對策として社會局で軍事扶助費による生活扶助費の第二次增額を行ひ、扶助手續の簡易化をはかると同時にすでに軍事扶助費四千萬圓、軍事援護事業資金（扶助費の適用を受けない方面に使用）一千萬圓、計五千萬圓を來年度豫算に計上、これによつて遺家族に對する銃後援護の强化をはかることになつたが、社會局ではこれに滿足せず更に溫い救護の手を遺家族の上にのばさうと、假令ば遺家族が立派に更生するために必要な各種の相談に應じようといふ軍事援護相談所の設置や幼兒の教育、子弟の就職問題等について引續き保護策を講ずることゝなつた、つぎに傷兵保護問題について社會局ではさき頃傷痍軍人保護對策審議會を設置、特別委員會、小委員會を設けて對策具體案を協議中であつたが、いよく廿七日總會を開いて具體案の最後的決定を見た上追加豫算としてその費用を今議會に要求することゝなつた、同總會では小委員會の原案を

中心

に傷兵の醫療、職業、教育就職斡旋その他の傷兵優遇問題及び國民教化問題について研討協議の上最後案を決める筈であるが、その中心問題は醫療對策及び職業教育の二つで醫療對策としては全國に傷兵療養所の設置、職業教育對策としては全國に傷兵職業所を設け、傷兵不具の程度に應じて更生のため必要な職業の再教育を施すこととなる模様で、その施設經費は五、六千萬圓に上るものである

郭侍從武官

國軍奉天部隊の凱旋を出迎へのため畏き邊りより奉天に派遣された郭侍從武官ほか隨員一名は廿七日午後八時四十五分奉天より濟京の豫定

兵（宮城縣刈田郡）小野富□一等兵（同）は壯烈なる戰死を遂げ、菊田長治上等兵以下兵六名負傷した

軍需資材調整のため
一局設定準備中

【東京國通】軍需資材の生產配給輸入の圓滑なる調整は對支長期戰の遂行上絶對必須の條件であるため政府はこれが對策として軍需資材調整に關する事務を一元的に統轄する局を新たに設定すべく目下その準備を進めてゐるが、大體商工省内に新たに軍需局といふが如き一局を設定するか或は現在の大藏省爲替管理局を改組强化するかしてこれに陸海軍、大藏、商工等各省の關係事務を綜合集中し軍需資材のみならず國防上必要なる資材の輸入に關する事務を主管せしめ必要なる場合はこれら資材の生產配給の管理にも預からしめんとする模様である

谷壽夫中將凱旋

【東京國通】北支中支の山野に轉戰赫々たる武勳を樹て凱旋した谷壽夫中將は廿六日午前九時半東京驛着の列車で千

古に輝く凱れの都入りをした將軍はひやけのした頰をほころばせて出迎への内山、岸本兩大將、梅津陸軍次官、多田參謀次長等將星と言葉少なに挨拶をかはした上、中野の閑寂な私宅に入つた、將軍は聖戰半歲にわたる思ひ出を語り日本の兵隊は實に强い、特に私の部下はよく働いてくれ自分はたゞついて歩いただけだ、それにしても戰死傷者に對する慰靈慰問は何を措いてもやらなければならぬ

としみぐと述懷した

梨樹縣楡樹臺西方で有力匪殲滅

【奉天國通】〇〇部隊發表＝去る一月十九日以來奉天省梨樹縣北方地區にあつて匪賊討伐中の四平街〇〇隊大平中尉の指揮する〇〇名は廿三日午前十一時半頃梨樹縣楡樹臺西方大里の地點において匪首大有子の率ゐる有力なる匪團を發見、折柄の吹雪を衝いて直ちにこれを攻撃激戰數刻の後敵に潰滅的打撃を與へて潰走せしめたが、右戰闘において部隊の先頭に立ち軍刀を揮りかざしつゝ頑强に抵抗する敵陣の眞只中に躍り込み縱横無盡に敵をなぎ倒したが部隊長大平中尉は遂に頭部に敵彈を受け無念の一語を殘し壯烈なる戰死を遂げ、續く岩崎上等兵以下四名の勇士は負傷した

戰死傷者氏名左の如し

戰死歩兵中尉大平芳夫（大分縣）負傷歩兵上等兵岩崎三太郎、歩兵一等兵花田體作、同成田安雄、同中川岩吉、（以上青森縣）

安東、錦州方面の罹災民救濟方陳情

昨年の安東錦州方面の大水害に依る罹災民救濟はかねてより民生部に於て考慮中であつたが、舊正を前に控へこれ等要救濟難民は約二十萬の多數に上つて居ることが調査の結果明らかとなつたので民生部社會司ではこれが應急對策考慮方を近く總務廳に申請することゝなつた、民生部當局では安東、錦州の徹底的救濟には約百萬圓を要するものとみてゐる

滿洲經濟指導方針何等變更なし
豫算總會で杉山陸相答辯

【東京國通】廿六日の衆議院豫算總會において砂田軍政氏の滿鐵改組ならびにこれに伴ふ滿洲重工業會社創設により滿洲經濟指導の方針に變化なきかとの質問に對し杉山陸相は對滿事務局總裁として答辯し從來の滿洲經濟指導の方針には何等變更はなくたゞ一層の統制聯携を保つよう按配した旨を答へ滿洲經濟指導方針の不動性を强調した、なほ同日午前の駒正憲氏の同様の質問に對しても近衞首相および原對滿事務局次長より日滿共存共榮の根本方針に則り適地適應主義に基く不變の指導方針を堅持しつゝある旨答辯をなした

英船起訴決定

【東京國通】去る七日夜東京灣内金田灣の東京灣要塞地帶に不法侵入した英國貨物船マリヨンモーラー號（三、八二七噸）事件については横濱地方檢事局で船長ウイリアム・ホーラを愼重取調の結果、軍機保護法違反船舶法違反の兩罪で起訴することに決定、廿六日同氏に對して正式に起訴命令が發せられた、同船は取調の結果當夜の烈風、積荷量などの事情を酌量して寬大の處置をとり、船體の沒收を見合せたもので、東京控訴院檢事局では特に戸澤思想檢事をして取調を應援せしむるなど愼重を期したものである

牡丹江、錦州兩驛今春大改築

東部滿洲における政治、交通の要地牡丹江は最近目覺しい躍進振りを示し、背後地一帶の開發と相俟つて同地に發着する貨物、旅客の數は急激な增加をみせ、殊に旅客の如きは乘降者合して一日平均七、八千人は下らないといふ有様で現在に於る驛の施設では多大の不便を感ずるに至つたので鐵道總局では今回經費約十五萬圓を投じ同驛の大々的增築をなすことゝなつた、尚豐庫熱河の玄關たる錦縣驛も熱河の開發促進及び錦州市の發展に伴つて客貨の往來頻繁を加へるに至つたので、工費卅六萬圓を投じて堂々たる近代式驛舍を新築することゝなり、前者、後者何れも本年解氷期とゝもに着工の豫定である

滿洲國體育聯盟國際陸聯に正式加盟申込み

【東京國通】滿洲國體育聯盟は豫てからオリンピック參加の前提として國際陸上聯盟への加盟を望んでゐたが今回パリで國際陸聯總會が開かれるに當り愈々正式に加盟申込の手續きをとることゝなり、滿洲國體育聯盟宮澤理事長の名を以て國際陸聯會長エドストローム氏宛、加盟申込の文書を提出する一方、二十五日出發したわが陸聯代表木下東作博士にも斡旋方を依賴した、右に就て木下博士は出發に當り左の如く語つた

滿洲國の加盟に對しては出來るだけ盡力して見たいと思ふ、正式申込書はあらかじめ總會の永井總長に持つて來て貰く筈だが私としては差當りドイツ、イタリー、アメリカ等の委員に當つて豫め意向をさぐつて見ようと思ふ

省庶務、地方兩科長會議終る

廿四日より開かれた省庶務及地方兩科長會議は廿六日午後における中央と地方の懇談を以て三日間に亘る會議を終了地方側各科長はそれぐ一兩日中に歸任の上地方制度運用に遺憾なきを期す筈である

武部總長旅程變更

廿七日歸京豫定の武部關東局總長は都合に依り一兩日大連に滯在して歸任することとした

佐藤滿鐵理事

滿鐵理事佐藤應次郎氏は二十八日午前七時の列車で來京豫定

松本弘報課長

滿鐵本社松本弘報課長は事務打合せのため二十七日午前八時十分の列車で來京國都ホテルに投宿した、一兩日滯在の豫定

人事往來

着京

▲植村秀一氏（官吏）廿六日來京ヤマトホテル
▲綱谷福造氏（會社員）同
▲谷與利吉氏（同）同
▲景山泉造氏（同）同
▲安川豐三氏（同）同
▲福永登氏（同）同
▲三村哲雄氏（官吏）同
▲鶴見憲氏（哈市總領事）同
▲伴義定氏（商工省燃料研究所長）同
▲田中莊太郎氏（齊々哈爾總領事）同國都ホテル
▲栗本秀顯氏（牡丹江副領事）同
▲津川哲三氏（鑛業開發社員）同
▲新宮忠三郎氏（官吏）同中央ホテル
▲關本益雄氏（會社員）同國都ホテル
▲宮田長次郎氏（同）同
▲佐藤利一郎氏（同）同
▲土方直榮氏（滿拓社員）同國際ホテル
▲新野尾善九氏（辯護士）同新京ホテル
▲竹内節夫氏（錦州省教育科長）同
▲宮崎悟氏（滿鐵社員）同蓬萊ホテル
▲藤森龍雄氏（同）同

出發

▲鈴木政武氏 廿六日哈市へ
▲山崎春雄氏 同
▲松永令三武氏 同
▲伊藤當氏 同
▲鈴木多三郎氏 同
▲福渡一雄氏 奉天へ
▲野專嘉造氏 同
▲中原三郎氏 安東へ
▲林正三氏 鞍山へ
▲北林惣吉氏 哈市へ
▲瀬守次氏 大連へ
▲加藤勘次氏 齊々哈爾へ
▲松岡鎌一氏 吉村へ
▲武内文生氏 奉天へ
▲渡邊鎭助氏 大連へ

その日く

□ 戰ひの後に來るもの、早くも文化工作が議會で論ぜられてゐるのを悅ぶ

□ 思想戰である以上、終局に於いて決定的に勝利を得なければならぬのだ

□ 黎明の大陸は、やがて輝く陽光のもとに豐かなる結實を收めねばならぬ

□ かへらざる縞道陣の戰士にわれら哀しみ深し、こゝに敬弔の意をいたす

□ 自嘲の聲がゆきわたる、ネオン街に向ふ客も氣持を再檢討せねばなるまい

南京攻略寫眞展 愈よあすから

無敵皇軍の奮戰を見よ

一中井で

滿鐵新京支社弘報係主催本社後援の南京攻略寫眞展覽會は二十八日から三日間大同大街三中井百貨店五階で開催することになつた、展覽する寫眞は六十二點で二十七日陳列を終つたが皇軍が白茆口敵前上陸から南京を攻略し敵都の城頭高く感激の日章旗を揚げつゝ、戰歿將兵慰靈祭まで細大洩らさずカメラに收めてありまのあたり見る無敵皇軍の奮戰狀況に感激を覺へるとゝもに感謝の念を起させるに充分である、なほ會場入口では入場者觀覽の便を圖るため目錄を進呈する（寫眞は燦として紫金山に輝く部隊旗と我軍に擊墜された敵機）

伴氏迎へ座談會

滿洲國に於ける燃料問題研究のため渡滿した商工省燃料研究所長伴義定氏は二十六日午後十時宿列車で來京ヤマトホテルに投宿、廿七日は滿洲國關係機關、滿炭其他を訪問したが、滿鐵支社では同氏の來京を機とし廿八日午前十時からヤマトホテルに於て山口支社長以下各課長主任等出席座談會を開催する

あきひろ丸沈沒

【小樽國通】廿六日午後零時半頃小樽市外高島沖を航行中の濱口汽船あきひろ丸（一、二二四噸）より猛吹雪のため航行不能船體危險に陷つた旨のSOSを發したのを接受した小樽水上署では拔店小樽市久野回漕店と協力救助手配中であつたが、何しろ咫尺を辨ぜざる猛吹雪のため船體を發見出來ず引續き搜査中午後三時に至り小樽市外潮見村字張碓沖惠須島右より三百浬の海上に千噸級の沈沒船ありとの報に接したので直ちに救助船を出し調査した結果、附近に漂流中のブイによりあきひろ丸なることが判明したなほ同船には船長井ノ口倉吉氏ほか卅一名の乘組員あり、その安否は氣づかはれてゐる

司法部で日本人繙譯官募集

司法部では目下日本人繙譯官を募集中である、應募締切は二月末日、三月中旬新京で試驗を行ふが滿洲國又は滿鐵語學檢定試驗滿語二等以上合格者は語學試驗を免除する、詳細は司法部大臣官房人事課に問合せる事、なほ募集要綱は一月二十五日の政府公報に掲げられてゐる

潜伏コレラ防止に 保健司待機の姿勢

滿、支國境にバリケード 主要都市に病院新設

昨年上海、北支方面に發生したコレラは滿洲にも侵入し當局必死の防疫陣に依り冬期に入るに從つて次第に終熄漸く食ひ止めたが、本年の解氷期に潜伏してゐたコレラ菌が再び猛威を揮ふ危險性があるので民生部保健司防疫股ではこれが對策として山海關檢疫所を擴大強化し、古北口、喜峰口の二ヶ所に新たに檢疫所を設置細菌技術者を養成して配置する一方、人口五萬以上の主要都市及び各省公署所在地に傳染病院を新設し傳染病の徹底的絶滅を期してゐる

路面列車 あす國都入り

鐵道總局自動車課で製作した路面列車の奉天新京間試運轉は廿四日奉天出發して廿七日新京到着の豫定の所途中故障の爲一日遲延して廿八日午後興樂路吉林鐵路局新京自動車營業所へ到着することゝなつた

リヤカーを盗む

舊臘來リヤカーの盗難頻々たるに鑑み中央通署では犯人捜査中であつたが、廿六日午後八時頃鐵道北尾上町五丁目附近路上に於て擧動不審の支那人を折柄警行中の同署財前刑事が發見本署へ連行嚴重取調の結果捜査中のリヤカー專門の窃盗犯と判明した、右は山東省生れ住所不定無職郭燕鵬（二二）で昨年十二月廿一日東二條通一九片岡洋行のリヤカー一台を窃取せるを手始めに市内各所より十數台時價三百餘圓を窃取せる旨自白した尚餘罪追求中である

櫻木校創立記念音樂會 あす開催

新京櫻木小學校創立第一周年記念音樂會は二十八日午前十時半から開催することゝなり目下各學年とも練習をつづけてゐる、當日のプログラムは左の通り

（第一部）齊唱「こな雪」一「ぺんぺん草」三女、齊唱「チヨコレートの兵隊」「僕の弟」一年三四組、齊唱「動物園」「雪合戰」四男、獨唱「奈良」六女牛田雅子、齊唱「かけつこ」「たこあげ」二年一二組、遊戲「兎の休み時間」一年、齊唱「南滿本線」合唱「冬景色」五男、齊唱「リンク」「バクチク」一年一二組、ハーモニカ合奏「春の微笑み」「君ケ代行進曲」兒童有志伴奏岩田

齊唱「がん」「影法師」二年三四組、劇「山彥」三年遊戲「ペタコ」「ハイキング」四女、混聲合唱「出陣」六女職員、齊唱「堅壘突破」「愛國行進曲」職員一同（第二部）

齊唱「蜜柑船」合唱（ハミング付）「故鄕」六女伴奏大浦獨唱「折紙」「小馬」二女岩田聖子、劇「金太郎さん」一年、齊唱「鷲」「星合唱「瀧」六男、獨唱「星の界」齊唱「ひよどり越」三男（森一郎）三男、劍舞「兒島高德」五男、劇「狼と小羊」二年、齊唱「曾我兄弟」合唱「紅葉」四女、劇「雲雀」五女、遊戲「うち振るみ旗」三女、齊唱「山に登りて」合唱「冬の夜」五女伴奏岡崎

卅日除夕のプロ 日滿に仲繼放送

奉天放送局の試み

奉天放送局では來る三十日除夕のプロを編成したが、午後六時から十分間子供の時間に奉天城內四平街に嬉々として遊ぶ子供達の遊戲や喊をキヤツチし、これを電波に乘せて全滿及び日本の子供達へ贈り、同十一時から四十分間は同所の除夕・迎春爆竹風景を各地の放送に伍して全滿に聞かせることゝなつた

× × × × × ×

老ひも若きも あすは西公園へ

戶外保健週間寶探しデー

戶外保健週間の行事寶探しは二十八日午後一時より西公園池畔に於て開催せられるが、豫め品名を書き込んだハトロン封筒を附近の木枝につるしてあるからそれを探し出して品物と引換へすれば良いので老若男女を問はず一般市民多數の參加を主催者側では希望してゐる

電業戶外デー

愛國運動首都聯盟の戶外週間も日を追ふて高潮身心鍛錬に多大の貢獻をなしつゝあるが滿洲電業でもこれに呼應し來る三十日（日曜）の正午より電業村兒童遊園地に於て電業戶外デーを催し社員並に家族集合社員會新京支部長の開會の辭について日滿國歌齊唱揭に日滿國旗を揭揚、社歌を齊唱の後伊ケ崎總務部長の挨拶あつてスケート大會に入り電業對新洲鐵のアイスホッケー試合、社員家族の中、小學生のスケート競爭、一般社員のスケート競爭、模範型滑、リンゴ、ミカン拾ひ競爭、福引等の餘興を行ふ

牡丹江放送局 本放送開始

牡丹江放送局ではかねてより放送施設につき改善を加へてゐたが、來る二月一日よりいよいよ本放送を開始することゝなつた

學校組合補助金 二百五十萬圓を決定

滿鐵地方行政權移讓とゝもに教育行政の一切が關東局司政部管下の學校組合に移讓したが、滿鐵社員子弟の義務教育關係もあり、昭和十三年度豫算に二百五十萬圓を計上、學校組合の補助金とすることになつた

體力測定三日目

體力測定第三日目は續いてニツケに於て行はれたが測定の結果優秀者は左の如くである

▽握力＝男子＝A一〇キロ横川徹也、B級九六キロ德永高、七四キロ伊藤史郎、C級一二〇キロ福島德三、一〇キロ李成信、D級一二〇キロ田中又三郎、E級九八キロ小林金六

▽背筋力＝男子＝A級二六キロ横川徹也、B級一九五キロ東榮昌、一三五キロ阿知波茂三、C級二二七キロ李榮年、二二〇キロ岩淵新造D級二三キロ小里貞雄、E級一三五キロ田中稔

滿鐵寒稽古納會

滿鐵運動會新京支部柔劍道部主催武道寒稽古は二十三日から京中京商兩道場で開始したが社員百餘名中等學校生徒小學兒童等多數參加あり連日猛練習をつづけてゐるが三十日午後二時から京商道場で納會を行ふことになつた

愛國映畫の夕

滿鐵新京社員倶樂部主催、支社福祉係後援愛國映畫の夕は二十七日午後七時から白菊倶樂部、廿八日午後七時から千早倶樂部で開催するが映畫は時局に相應しい軍事映畫「海戰幻想曲」「海國大日本」等でこの他に青年部有志の愛國行進曲合唱をも行ふ豫定

牡丹江ゆき 列車時刻改正

綏芬河泊りの要なく不便一掃

總局では最近牡丹江―東寧間直通旅客の激増に鑑み綏芬河における東寧行自動車線との連絡を密にするために牡丹江綏芬河間第九〇三、九〇四兩列車の運轉時刻を改正、又中間驛旅客の便宜をはかるため牡丹江―穆稜間第九七一、第九七二兩列車の運轉區間を下城子まで延長、同時に時刻をも改正、來る二月一日より實施に決定した從來東寧―牡丹江間が往復ともに綏芬河に一泊を餘儀なくされてゐた不便が一掃されることゝなつたわけである

△牡丹江―綏芬河間下り第九〇三列車

牡丹江發　八時一〇分
綏芬河着　一四時四五分

△同　上り第九〇四列車

綏芬河發　一二時〇五分
牡丹江着　一八時二五分

△牡丹江―下城子間下り九七一列車

牡丹江發　一六時一〇分
下城子着　二〇時五三分

△同　上り九七三列車

下城子發　六時二〇分
牡丹江着　一二時〇五分

就寢中の火事で 滿人燒死

廿六日午後七時頃長通路署管内鐵嶺屯向陽街四奉天省營口縣生れ無職張閣濤（六八）方から發火驅けつけた長春大街消防署の活動に壁紙一部を燒失同七時卅分鎭火したが、燒跡から隣家の段某（二五）が右張の燒死體を發見屆出により首警鵜木搜査股長は東洋醫院田中醫師を帶同現場檢證の結果ストーブの不始末から發火張は就寢中逃げ場を失つて兩腿部を燒傷死亡せるもので過失死と見られてゐる、火災損害は輕微

取引所信託 定期總會

新京取引所信託株式會社では廿七日午後一時より同取引所にて第三十二回定期株主總會を開催、治廢實施後の情勢に應じて社名を「新京官營取引所信託株式會社」と改め本社所在地を新京特別市として資本金の「金」を「滿洲國國幣」と改めた外左記事項を上程決議した

一、第卅二回營業報告、貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認の件利益金處分承認の件

一、役員報酬に關する件

一、特別積立金支出の件

鮮滿對抗氷上 役員、選手決定

【京城國通】來る卅日安東で行はれる第三回鮮滿對抗氷上大會に出場すべき朝鮮側役員および選手は左の如く決定した

△役員並に監督　佐伯國治、藤井秋夫、宮川泰、正木茂久、鄭商熙、金龍九

△男子スピード　李明天（徽文高普）、金河吉（江界）、金漢集（咸興）朴性用石龍元（齒科醫專）、金容義（白狗倶樂部）、尹秉奎（新義州高普）

△女子スピード　鶴谷春江（龍山小學校）、李金炳烈（京城女高普）、仙波幸仁九（龍谷高女）、田代千枝子（龍谷高女）、粟田種子（龍谷高女）、寺澤美江子（龍谷高女）

なほホッケーおよびフイギユア選手は未決定

神宮アイスホツケー準決勝

【東京國通】第九回神宮大會スケート競技第一日アイスホツケー準決勝二試合は、廿六日午後六時から芝浦スケート場において擧行されたが、成績左の如し

早大 4 {1―1, 2―1, 1―0} 2 日光古河

立教 8 {4―0, 2―2, 2―1} 2 明治

鈴木記者追悼會 國通本社で執行

北支報道陣第一線の華と散つた國通特派員故鈴木二郞氏の追悼會は、廿六日新京北安路國通本社會議室にて堀内弘報處長、小野編輯局長、大西同次長以下國通社員數十名參列してしめやかに執行された、祭壇に飾られた元氣一つぱいの氏生前の寫眞も今は一しほ一同の哀愁を深めるうちに淚の燒香あり、ついで小野編輯局長から同氏の勇壯なる陣中談、負傷以來長逝までのみちた症狀報告ありたる後一同しめやかに在りし日の氏を偲んで語り合ひいつ果てるともなきうちに追悼會第一夜は更けて行つた

宮田國通記者

かねて盲腸炎にて入院治療中の國通齊々哈爾支局員宮田博氏（二四）は二十七日午前一時四十分死去した

あす（廿八日）

▲戶外保健週間第六日寶探し、午後一時、西公園

▲體力測定會運動寫眞展ニツケ

▲南京攻略寫眞展、三中井

▲新潟縣人會、午後六時、松翠

今晩の主なる放送

七、三〇國民唱歌（東京）「1金槐集より2子等を思ふ」（獨唱內田榮一）七、四〇講演（東京）「中古水軍の戰術について」（海軍中將小笠原長生）八、〇〇義太夫（東京）「伊賀越道中双六」八、三〇管絃樂（哈爾濱）「哈爾濱交響管絃樂團―1組曲皇軍讚歌2組曲クリミヤの風景」八、五五ラヂオドラマ「海」（大阪）

映畫と演藝

國民精神總動員 松竹、演劇映畫資料募集

松竹では時局に對應し其使命を果すべく今般日本精神の眞姿を現はすに足る演劇映畫の資料を一般から募集しこれを上演或は映畫化する事になつた

（内容）＝一、輕佻浮華を戒め安價なる感激を排し赤誠に燃ゆる日本精神を顯現すべきあらゆる種類の美談佳話二、其他劇化、映畫化、レヴユウ化に相應しき各種の隱れたる美談佳話

（淨類）＝一、以上の内容を有する新舊何れの脚本にても可、但し一幕物或は三幕物以下にて上演時間二時間以内のもの、映畫にあつては五六巻程度二、美談佳話の梗概にても可、字數に制限なし、篇中の人名地名は實名に限る

（締切）二月十日迄に到着の分を第一回とす

（謝禮）採用の分は金一千圓以下二十圓以上呈す

（宛名）東京市京橋區新富町三ノ五松竹株式會社

〃曉の總攻撃〃 三和商事が獲得

世界大戰役一世を風靡したR・C・シエリフの有名た戰爭小説を逸才ジエームス・ホエール監督が映畫化した「曉の總攻撃」が三和商事に入荷し日本版に着手した、これはユニヴアーサル社の傑作「西部戰線異狀なし」を凌ぐといはれるアカデミイ賞獲得の大作で同名舞臺劇に完璧の演技を見せたコリン・クライヴ主演にデヴイツド・マナース、アンソニー・ブッシエル、チャーレス・ヴラド等が助演してゐる

滿映北支巡廻映畫班 廿九日新京出發

滿洲映畫協會では昨年末冀東政府より要望し來れる北支民衆の宣撫と慰安のため巡廻映畫班派遣方につき協議中であつたが、各方面との打合せも終了したのでいよ〳〵新京本社の鮎川氏外一名の技師を派遣し約五十五日間にわたつて北支各地を巡廻映寫せしめることになつた、同地方は所謂ホーム・ライト（自家發電器）を使用してゐるのでローヤル映寫機を持參し「樂土新滿洲」「黎明の華北」及び支那の劇映畫、ニュース映畫を上映する、なほ一行は廿九日新京を出發する筈である

新興「牡丹くづる、時」

新興東京では新進淡島みどりの本年度第一回の主演映畫として小出政二郎作「牡丹くづる、時」（新編）の製作を決定した、これはかつて伏見信子の主演で前篇のみを發表したが、伏見信子の松竹下加茂入社以來適當なスターなく待機中のところ最近素晴しい人氣を持つ淡島みどりを起用することになつたものである

▽▽有馬猫△△ 新興京都、新興十八番もの丶怪猫映畫、波多謙二のシナリオにより木藤茂が監督、鈴木澄子、森静子、歌川絹枝、高山廣子、國友和歌子、甲斐世津子、草間房江など女優群總出の盛觀、男優では市川男女之助が附合つてゐる程度久留米二十一萬石有馬家の奥殿を背景に奥方の嫉妬から迫害を受けて死んだ愛妾の侍女が、女主人の復讐から怪猫となつて大奥を恐怖させる、銀座キネマ廿九日封切

サボテン

新京會館で一人のダンサーをつかまへて或る客しつこく名前を聞くので「うるさいね、姓名判斷でもしてくれるのかね、私は南條英子サ」▼その客「はゝん、君は鐵條網みたいに冷く英國の様に强力で長期抵抗を言明するくせに南京みたいに直ぐ陷落する性質の子ですネ」とこじつけたので彼女「ファンなの無いわ」と怒つてゐたです、誰か本格的に姓名判斷してやつて下さい、▼此處の岡本バンドマスター「ホールが閉鎖されたら俺麻雀莊を開くかな、麻雀は君滿洲國に昔からあるものだらうか」と心配さうに聞いてゐましたがさてどんなものでせうかね▼バー・オリエントのK子クン「もの覺えがい丶」と思つたら『發明と自由戀愛』では勉強する役をい丶ことに舞台本を讀んでゐた」と書かれてちとオカンムリ、「誰れッあれを書いた奴ッ！」

雜音

銀座キネマの舊正番組は「有馬猫」と「花嫁勢揃ひ」の二本立、新興映畫としては最上級の番組であらう▼長春座の「エノケンの猿飛佐助後篇」と賑やかなお笑ひ二本に「君と踊れば」「キングソロモン」と洋畫ブロ二本はミユージツクものと冒險もの、娯樂ブロとして申分なし▼異色あるところでは新キネの「大金剛山の譜」と「人類一億年の暴露」などあつて、舊正番組は仲々多彩だ

一月二十八日 金曜 庚申 友引 危 鬼宿
舊十二月廿七日
東京・本郷・神誠館

●一白の人 歩調正しければ思ふ彼岸に達し得らるべし 乙と丙と戌が吉
●二黒の人 體實味を欠く時は目上に見離さることあり 丙と丁と庚が吉
●三碧の人 投機心を起さず空想に耽らず常業大切の日 乙と辛と戌が吉
●四緑の人 眞面目に働けば追はずとも貧乏神は逃出す 甲と乙と戌が吉
●五黄の人 目上の者に疎まれ易き日謙遜が第一と知れ 午と丁と未が吉
●六白の人 急速の發展を望まず自重隱忍すれば萬事吉 辰と丁と寅が吉
●七赤の人 不安に襲はる丶とも志を變へぬ様にすべし 甲と辰と辛が吉
●八白の人 氣分軟弱に陷り易き日無理をすれば損失す 丙と庚と壬が吉
●九紫の人 眼前神佛の慈光に浴する様な心地ある吉日 未と戌と癸が吉

滿洲鑛山會社と航空機會社新設

＝滿洲重工業の第一期計畫＝

【東京國通】滿洲重工業開發會社は目下對滿事務局で開催中の昭和製鋼所その他會社資産の評價委員會において滿鐵傍系會社の滿洲國政府に對する讓渡價格の決定を見次第同社に對する滿洲國政府の拂込を完了しこゝに滿洲國五ケ年計畫の樞軸たる重工業資源の開發に本格的に乘出すことになるが同社はその第一期計畫として鐵、石炭以外の鑛物資源開發にあたる鑛山會社ならびに航空機製作會社を新設すべく、既に滿洲國政府より內認可を得てゐる

しかして前者はすでに滿洲鑛山株式會社（資本金五千萬圓）と銘うつて、事業大綱、重役陣を決定、來月中旬創立總會を開催すべく諸般の準備を進めてゐる

また航空機製作會社（社名未定）は滿洲航空會社の製作部門を帳簿價格（約七百萬圓乃至八百萬圓）で買收分離したのち資本金二千萬圓に增資する豫定であり、右は目下計畫中の自動車會社と同樣に重工業會社が將來外資導入によつて着手せんとする大規模生產計畫とは全く別個のものである、また創立總會は二月中開催の豫定である

なほ滿洲鑛山會社の陣容その他は左の如く內定してゐる

一、資本金　五千萬圓、第一回分四分の一拂込み、但し滿洲重工業開發株式會社において全額引受

一、事業範圍　金、銀、銅、亞鉛その他鐵、石炭を除く金屬全部を含む

一、役員
取締會長　鮎川義介（滿洲重工業）
監查役　齋藤靖彥（同）
他一名未定

また航空機會社の重役陣は滿洲重工業理事山田敬亮氏をはじめ舊日產關係會社から選ばれるほか滿洲航空會社の製作部門擔當の重役も大體新會社に引繼がれる筈である

倍額增資
日產化學工業

【東京國通】滿洲重工業開發會社ではかねて子會社の增資新株を同社株主に對し割當てる方針に決定してゐたが、今回日產化學工業が資本金六千二百萬圓を倍額增資する（二月一日實施）に際し、その增資新株（第一回拂込一株につき十二圓五十錢）を一應滿洲重工業で引受けた後四月一日現在の同社民間株主に對し左の如き條件で優先的に轉賣することに決定、廿六日この旨發表した

一、乙種株主（民間）の持株萬株一〇〇に對し日產化學增資新株三〇株の割合
一、同じく新株一〇〇に對し一二、五株の割合

引受の細目につきシ團メンバーの意見も一致した、即ち總額一億圓のうち三千五百萬圓は興銀で、殘りの六千五百萬圓は他のシ團メンバー四信託十二銀行に大體均分に割當てられることになつた

滿洲國債
引受け細目決定

【東京國通】滿洲重工業會社に對する滿洲國政府出資分二億二千五百萬圓中一億圓を內地金融市場に求めるべく田中滿洲中央銀行總裁は先般來日、滿洲國債シ團と折衝を續けた結果、既にシ團側の滿洲國債引受に對する諒解成立、

十二月の小賣物價　前月より微落

―蔬菜類の騰貴が顯著―

經濟部調査＝康德四年十二月中における全滿主要廿一都市の生活必需品小賣物價指數を觀るに、その總物價指數は前月を基準とすれば九九・九にして〇・一％の微落であり、前年同月を基準とすれば一〇四・七にして四・七％の騰貴を示した

次に七大都市（新京、奉天、哈爾濱、吉林、齊々哈爾、營口、安東）に於る總物價指數は前月に對比して〇・三％の微落、前年同月に對比して〇五％の騰貴である

しかして主要廿一都市及び七大都市の各指數より觀て十二月中においては全滿一般的に低落傾向を示したことは注目すべき現象である、更にその騰落趨勢を品目別にみるときはその騰價率の最も顯著なるものは蔬菜類で、前年同月に比し四割の騰貴で、次で魚肉類、衣料の順である

類別	前月比（廿一都市物價指數）	前年同月比（同上）	前月比（七大都市物價指數）	康德元年對比
穀類	(一) 一、六％	(一) 四、〇％		(十) 一三、四％
蔬菜	(十) 二七、六％	(十) 四、六％		(十) 二〇、九％
魚肉類及	(十) 〇、七％	(十) 一三、九％		(十) 二一、九％
その他食料品	保合			
調味嗜好品	(十) 〇、一％	(十) 二五、四％		(十) 三、三％
衣料及鞋類	(一) 〇、八％	保合		(十) 一〇、八％
燈火燃料	(十) 一、一％	(十) 九、三％		(十) 一〇、三％
總平均	(一) 〇、一％	(十) 四、七％		(十) 四、四％

なほ七大都市の總物價指數（新京を一〇〇とす）の變動を示せば左の如し

地名	基準（新京）	前月比	前年同月比
新京	一〇〇、〇	九九、五	一〇二、〇
奉天	一〇〇、六	一〇三、〇	一〇四、〇
哈爾濱	一〇四、四	九八、八	一〇一、五
吉林	九九、八	九八、八	一〇一、五
齊々哈爾	一〇五、八	九九、三	一〇四、七
營口	一〇二、八	九九、七	一〇五、四
安東	一〇一、八	一〇〇、二	一〇六、七

日本マグネ
城津工場擴張

【京城國通】日本マグネサイト工業では現在城津工場でクリンカーおよび煉瓦一萬五千トンを製造してゐるが、軍需工業の活況によります〳〵需要増を來すに鑑み解氷期を待つて隣接地に更に工場を增設し能力三萬トンに擴張することになつた、本年八月頃完成の豫定である、なほ炭マグ、硫酸マグの如き金屬マグネシユームは第三期計畫として明年頃より着手の模樣である

牡丹江商工公會

滿洲國商工公會法による牡丹江の日滿商工會議所の合併は豫て醞釀來より着々準備を進めてゐたがいよ〳〵來る廿七日市公署において兩所の代表者と會見、合併の調印を行ひ、二月一日より「牡丹江商工公會」の新看板が揭げられることになつた、なほ會長、副會長その他の役員は目下牡丹江省長の手許で人選中で、省長より經濟部大臣に申請し經濟部大臣より任命される筈である

北支の金圓安

通貨價値の問題でないと鮮銀で解釋

【京城國通】北支における流通金圓と支那法幣との間の打步は一時金圓に對する信用增大と支那側銀行券に對する信用失墜から百圓對九十九圓位までに縮少されたが最近再び九十三、四圓までに打步を生じ北支における新幣制金融還形の整備に暗影を投ずるものとして關係方面に注目されてゐるが、朝鮮銀行當局では右の現象に對し左の如く解釋を下し一般に論ぜられる通貨價値の問題ではなく流通紙幣そのもの丶需給關係によるものであるとしてゐる

一、農民の法幣に對する愛着が未だ深く棉花買付の如きは法幣に依らざるを得ない現狀であるに對して中國、交通等の支店は全然貸付を行はずために通貨の供給が絕へた

二、右の理由より棉花買付に當つては法幣の取得が必要で現在までに流通せる法幣に對する需要が著しく增大したこと

三、一方軍票代用としての日銀券、鮮銀券が支拂はれてゐるのに對し錢莊が法幣獲得の手段として不當に金圓を叩くこと

四、從つて金圓の低下せることは一部錢莊の勝手相場である

大體以上の如き解釋を下してゐるが、日下進捗中の聯合準備銀行が確立し新紙幣の出現による法幣乃至金票の引揚げが行はれゝば自然解消するものであると樂觀してゐる

高周波重工業
城津工場出荷

【京城國通】日本高周波重工業の城津工場製特殊鋼は一月早々第一回出荷を行つたが、これに引續き廿五日第二回五十トンを城津より出荷、卅日には更に七十トンを出荷する豫定で來月以降の出荷は每月六、七百トンに達する筈である

鐵道運賃に關して「工業會要望す」

總局との運賃委員會開催

滿洲工業界の振興を助成すべき滿洲工業會からの要望に基く鐵道總局との鐵道運賃委員會は、廿五日瀋陽大飯店において總局側より諸富貨物課長尾崎貨率係主任外四氏、工業會側卅工場代表委員出席のもとに開催されたが

一、海港發着特定運賃問題に關しては過去二年にわたり種々折衝を重ねた結果、總局側も時代の趨勢と滿洲產業經濟との關聯上可及的速かに合理的改正を實施すること

二、貨物運賃稅納金問題は現行社線通用を廢止し新たに一ケ年一萬圓以上の運賃を支拂ふ荷主に對しては後拂制度を設ける

三、セメント原料の運賃引下げについては業者の要望たる內地輸入原料品の運賃値下げは實際問題として滿洲の全企業に適用範圍を擴張すること丶なるため應じ難し

四、一萬キロ以上の貨物に對する貨車配給復活は本度より廢止となつたものであるが、總局側では年約四十萬圓の犧牲を拂つて混載制度（容積一五、一一八、二〇二五、三〇瓲）小口一車扱ひを認めそ

五、社國線運賃遠距離遞減法實施問題はさきに大村總局長の聲明にも一元的取扱實施が明示されてゐるが、なほ研究の餘地が多々あり合理的改正を行ふ

六、大連滯貨の迅速輸送に關しては稅吏の不足と保稅倉庫の容力不足のため大連に滯貨してゐる現狀にあるため工業者側に原料到着が延引してゐるので滿洲國政府へも要請すると共に保稅倉庫の擴大を考慮する

七、社國線貨物迅速輸送については大連配車係に該貨物荷主の專用線の有無ならびに保稅倉庫向けのものか否かにつきこのリストがなきため生じてゐる輸送上の不合理を改正する

八、北支向け貨物特定運賃制定については日滿支經濟ブロックの圓滿達成の觀點から今後大いに善處すく

九、貨車（社國線相互間）入替料金問題は從來社線は一車五十錢であるにも拘らず國線から社線に入替へられる場合は一車二圓六十五錢で五倍となつてゐる實情にあるので適當な改正を加へる

十、耐火煉瓦運賃割引制度復活に關しては一般建築材料ならびに二割五分の適用を希望したがなほ研究の上に善處

十一、車故證明問題は法規にあるも適用は全然なく荷受人全部の損失となつてゐるため右に對する說明の實施を必要とする

等で工業者側から提示された如上の實際問題は總局側においても種々研究參考に資すべき重要資料として同會を繼續的に將來も必要に應じて續開することに決定した

商況欄（廿七日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊	一四磅一志七片二分一
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二〇片八分一
同先限	一九片一六分三
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	休
スチール株	五四弗八分五
アナゴンダ株	三〇弗八分一

▲市俄古小麥

五月限	九三仙八分五
七月限	八八仙八分七
九月限	八八仙二分一

▲紐育棉花

現物	八仙五四
一月限	八仙七六
三月限	八仙四四
五月限	八仙五一
七月限	八仙五八
十月限	八仙六八

▲カルカツタ麻袋

青筋	二二留比八分五
鐵筋	二〇留比八分三

▲外國爲替

英米爲替	四弗九九仙一六分三
米日爲替	二九弗一一仙
米支爲替	二九弗七一仙
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片三分九
印日爲替	七七留比二分一

▲滿洲中銀爲替

上海向	九六弗ノミナル
天津向	九六弗ノミナル
紐育向	二八弗一六分三
倫敦向	一志二片〇〇〇

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向　第一回賣	一〇〇、二五
▲倫敦　第一回賣	一志二片三分七
▲紐育　第一回賣	二九弗一六分九五

金銀市況

上海標金 ―

阪神爲替

對米賣	二八弗一六分一
對米買	二九弗
對英賣	一志二片

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	二四四〇	一五九八〇
滿業	八六一〇	八七一〇
鐘紡	一六九〇	一六九〇
滿鐵	五六三〇	二二三〇
大新	九二二〇	―

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	九一九〇	九一八〇
新鐵	一六四二〇	一六四二〇
東鐵	一六九二〇	一六九二〇
鐘紡	八六一〇	八六六〇
滿鐵	六五二〇	六五六〇

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新品	一五五〇	一五五〇
滿業	一六四二〇	一六五七〇
東新	八六〇	―
滿鐵	五六五〇	―
取引	五五三〇	―
鐘新	一六九〇	―
土木	一三一〇	―
豆新	一七八〇	―

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
一月限	―	―
二月限	二三七〇	二三五〇
三月限	二三五〇	二三五〇
四月限	二三四〇	二三二〇
五月限	二三一〇	二三〇〇
六月限	二三〇〇	二三〇〇
七月限	二二七〇	二二七〇

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	―	―
先限	四四九	四四九

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	七四二	七〇〇
先限	七三六	七三〇

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	三三九〇	三三九〇
中限	三三九〇	三三九一
先限	三四一九	三四一三

▲橫濱生糸

	寄付	大引
現物	―	―
當限	六六九	―
先限	六七四	―

各地特產市況

▲新京

	寄付	引來
現物 大豆	―	―
高粱	―	―
一月限 大豆	五、三三	五、三二
二月限	―	―
一月限 高粱	―	―
二月限	―	―

▲大連

	寄付	大引
大豆 袋入		
二月限	六〇三	六〇三
三月限	六〇四	六〇六
四月限	六一二	六一三
五月限	六一七	六一六
六月限	六二三	六二〇
三豆	―	―
豆粕 現物	―	―
二月限	三四〇	三五〇
三月限	三四〇	三五〇
四月限	三四〇	三五〇
五月限	三八〇	三八〇
豆油 六月限	―	―
現物	―	―
二月限	一三二〇	一三二五
三月限	一三三〇	一三三〇
四月限	一三三五	一三三〇
五月限	―	―
六月限	―	―

青春の宿（一〇九）

須藤鐘一作
柴谷宰二郎畫

記者の眼（十四）

『や、あんたは――』

岡見の眼の注がれたところ――驚きわのボックスに、一人の青年と向ひあつて、食事してゐたのは讓治だつたのだ。讓治は、岡見よりもさきに氣付いてゐた。

彼は、一足先に出ていつた銀平を見てはつさしたが、幸ひにして、銀平の目には觸れなかつた。

銀平が、何の爲に、こゝへ來てゐたか。讓治には、すぐに思ひあたるものがあつた。

――昨夜、岡見は、例の詐欺を目的とした株式會社への出資を、けふ銀平にも勸誘しようと、大原に約束したのである――銀平がこゝへ來たのは、その岡見と逢ふ爲ではなかろうか。

『昨夜の事でな、ちよつと……』

といひかけた岡見は、讓治と向ひあつて、食事してゐた青年をみると、ひどく狼狽して口を閉ぢた。青年は、いふ迄もない速水公平なのだ――公平は、岡見にとつては垂水の旅館での一件以來、妙に煙つたい存在だつた。

『岡見さんでしたね』

と、公平は、につこり笑つて

『先日は失禮しました……僕は先日垂水で……』

と、いひかけるのを、岡見は狼狽して止めた。公平のあたりかまはぬ大聲で、あの夜のことをいはれたくはないのであらう。

『いや、憶えてゐますよ』

『相變らず、君は、元氣ですねえ……』

『僕より、あなたの方が、まさう考へた讓治の眼は、自然にいま銀平が出て來たボックスの方へ注がれた。さうして――果してそこに岡見を見出したのだ。

讓治は、そこに、運命のいたづらといふやうなものを感じずにはゐられなかつた。

大原の目的は別として、讓治からすれば、たゞ岡見への復讐の一手段にすぎない、探炭會社への出資を、ひさもあらうに離子の父林田銀平にもたせるとは、運命のいたづらにしては、あまりに皮肉な戲れてある。

讓治は、どうかして、銀平に被害を及ぼすまいと思つたが、それを防ぐ方法はない。たゞ、銀平がこさはつてくれゝばよい、とひそかに願ふのみであつた。

銀平は、果してこさはつたであらうか。それとも承諾したのではなからうか。

と、さう、思ひ案じてゐたところへ、岡見から、聲をかけられたのである。

『あ、あなたも、こちらへ』すます御發展の御樣子ではありませんか……』

『いや、なに、はゝゝゝ』

岡見は苦笑にごま化して

『では、失禮――峰田君、またいづれ、よろしく――』

『はあ――失禮します』

妙にうろたへて、去つてゆく、岡見の後姿を苦笑しながら見送つてゐた公平は、岡見の姿が消えると同時に、笑ひを顏から消して

『峰島君――いま、岡見は君を峰田君……といつた樣だね……』

讓治の狼狽を見てとると、公平は押へるやうな重い口調でいつた。

『聞きあやまりぢやなさそうだ……君は、峰田といふ名前を使つてゐるのかね』

『さうです――』

『どういふわけで、僞名など使つてゐるんです？――』

『別に、僞名ぢやないんです――』

と、讓治は、狼狽にふるへようとするをからくもさゝへてつゞけた。

大正九年十月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

東洋平和建設に邁進

日本と協力、臨時政府

【北京廿七日發國通】中華民國臨時政府は日本政府が去る十六日發した國民政府を相手とせずとの聲明に關し感謝の意を表すべく準備中であつたが、廿七日午後二時左の如き重大聲明をなし、友邦と協力して戰禍に蒙れる民衆を救ひ、國家建設の向上に努力相携へて東洋平和の建設に邁進する旨の決意を闡明し、左の如き聲明を發した

國民黨の國を誤り人民に危害を及ぼせるも黨一身の利害に專念し國家人民の利益を考慮せざるに起因す、これ等の罪惡は事實に徴し既に明白にして今さら吾人の論譯を待たずとも萬人の齊しく認むるところ、唯その顯著にして最も重要なる點を指摘せば九月十八日事變以來六ケ年間その經過を回顧するに先づ無抵抗主義を稱へ、ついで一面抵抗、一面妥協といふ不得要領の政策に終始し、さらに廿四年の多に至り中樞の改組に際會していよ／＼抵抗の準備發揚を高調するに至れり、又西安事變に際會するや共産黨に强要されて聯ソ容共の政策を容認せり、或は抵抗準備に名を藉り民間の

多年蓄積せる

現金財寶を搜索してその全部を外國に輸出せり、又昨夏蘆溝橋事件に際會せる當時はその實は衷心より戰爭を欲せざるもその部下に脅迫されつひに今日の大事を惹起せり、その經過をみるに、彼等のいはゆる準備なるものは僅かに生命を犧牲に供せしのみならず、血肉をもつて抵抗すると豪語せるもその事實内容は五、六年間に數千億の資材を徒らに消耗せし以外何ものもなし、その準備とは果して何ものなりしや、上海より敗退して焦土政策を提唱し來り、徒らに自ら焦土として退却するのみにて抵抗して焦土とするに非ず、その意何れにありや甚だ不可解の次第なり、我國人は何の罪ありてかゝる禍に遭遇するや、甚だ遺憾に堪へざるところなり、彼等黨政府は既に吾人の政府としての資格を喪失せり、彼等黨人は專ら民衆を脅かしてその權利を保持せんとし、國人を欺瞞し排日を煽動、種々の毒計を策す、もし翻然として從來の欺瞞計畫を變更せんとしてもその自ら豪稱の具を失ふにほかならず、從つてその内部の崩壞を招來するは

必然の歸結に

して、この情勢よりすれば如何なる便宜を與へるも、その反省は到底望むべからず、今にして時日をもつてするもその反省を促せに藉すに時日をもつてするも彼等と絶緣するは又已むを得ざるところなり、友邦日本も又東洋平和の素志によりその反省を促せるも彼等は遂に反省するところとならず、自ら墓穴を掘りて抗亂をやめざるなり、こゝに於て我等同人は十二月十四日黨人に代りて民を救はんと念願し臨時政府を組織せしに、友邦日本は去る十六日聲明を發して遂に黨國を相手とせず、新興政府と國交を調整し、向上新中國の建設に協力しもつて東洋平和に寄與せんとするの決意を明かにせり、これ我等同人の最も欣快に堪へざるところにして吾人又友邦の協力により戰禍を蒙れる民を救ひ共産主義を絶體に排除し向上國家の建設に努力し相共に携へて東洋平和確立に邁進せんとする次第なり

重大聲明 湯議政委員長談

【北京廿七日發國通】中華民國臨時政府議政委員會委員長湯爾和氏は日本政府の十六日の聲明に對應する臨時政府の重大聲明を發表後記者團に對し次の如く聲明に關する重要談話をなした

日本政府は去る十六日重大聲明を發表してよりしばしば近衞首相其他政府要路者の説明を傳へ聞いたが、自分等はその聲明を聞き非常な喜びを禁じ得ない、何故なら其説明は實に徹底的であつて今迄に全く例のないやうにはつきりしたものであるからだ、廿七日發表した臨時政府の聲明は國民黨絶縁の聲明といふが如きものではない、臨時政府は舊臘成立當時すでに國民黨と絶縁してゐるから今さらその必要はない、從つて國民黨を相手としたものでないことも勿論である、我々は本聲明が全國大多數の態度を決しかねてゐる民衆に重大な働きかけをなすべきことを確信する、すなはち永い間國民黨の壓迫下に塗炭の苦しみをなめ且つ現にためつゝある四川、雲南その他邊境地域にある國民も臨時政府が新しい時代の上に日支互ひに手を携へて平和的建設に邁進しつゝあることを傳へ聞いたならば必ずや好影響を受けるであらう、自分等は日本の朝野とこの聲明を機會に誠心誠意提携して平和的建設に邁進して行くならば東亞の平和は必ず維持されるであらうことを信じて疑はない、このことは口で言ふことではなく實行に移さるべきである

重工業會社討論に上る

在支邦人の事業恢復に關し 外相、政府の援助言明〔衆院豫算總會〕

【東京國通】廿七日の衆議院豫算總會は午前十時四十分開會、先づ宮脇長吉君（政友）から鹽野法相の速かなる出席を要望して後

小山谷藏君（民政）滿洲重工業の利權をあげて鮎川義介氏に獨占せしめねばならぬ理由如何

陸相 今日のこの非常時局において滿洲における國防資源を開發し國防産業を確立することは急務なりと考へ、この目的に副はしむるため重工業の統制を圖つたものである、在來の如く重工業の各部門を個々獨立分散したのでは今日の必要に對處することが出來ぬので、これを一つの力のもとに集める機關をつくることが必要で、重工業生産力の低廉豐富、確實、迅速を期したわけであり、結局從來の滿洲産業指導精神と何等異るものではない、日産の進出を認めたのは速かにこの目的を達し、多くの民衆をこの國家的事業に接觸せしむるために取敢へず日産を選んだのであつて、これにより他の資本の進出を妨げるものではない

小山君 滿洲重工業會社の設立を機會に滿洲國經濟産業開發方針は一變したのではないか

陸相 今度の組織變更になつても産業の利益を一部會社に壟斷せしめるを除き得ると信じてゐる、日産の進出は同社が大衆的株主を綜合した新會社だからである

原對滿事務局次長 滿洲重工業を過當に庇護してゐるわけではない、滿洲國は半分の株をもち滿洲重工業はその强力な監督に服し内地産業との摩擦を避けるため事業に制限を受けるなどの制約を受けてゐる國策會社である、この性質からしても日産の獨占に委ねるのでないといふことが出來る

小山君 新會社經營に外資を導入するといふが、國防の鍵を握る重工業に外國資本を導入し、これに發言權を獲得させたら國家はどういふことになるか

陸相 ハリマンの經驗はよく研究してそれと同じやうな危險の起らぬやうに注意してゐる、しかし當時の事情と今日の事情とは大變異つてゐるし、投資の形式も考慮して萬全の對策を講ずるつもりである

これに關して

宮澤胤勇君（民政）日本政府は今度の重工業會社に對し發言權がなくなつたと考へるが

陸相 形の上ではさうであるが實質上は從來と變らぬ

かくて午前十一時五十分一旦休憩

衆議院豫算總會は午後一時五十分再開小山谷藏君（民政）午前に引續き滿洲重工業會社に對し質疑を蒸し返した後支那事變に轉じ「蔣政權は相手にせず」との政府聲明について

小山君 蔣政權が眞に反省した場合に於てもこれを相手にせぬといふ意味であるか

首相 政府は蔣政權に對しては最初からその反省を促すことを目的とし最後の手段を盡したが、これも望みがなくなり遂にあの聲明を發したのである、聲明の結果は内外に良い影響を與へたものと思ふ、且つ帝國はこの際態度を明確にすることが適當であると考へる

小山君 敵軍は最早戰鬪能力なきものと考へるが政府はこれをどう見るか、外國方面からの軍事援助は如何に行はれてゐるか、差支へない限り明らかにされたい

陸相 支那軍の戰略について議會頭初において述べた如く、彼等が大打擊を受け現在有してゐる兵力は恐らく百萬を超えてゐないと思ふ、蔣介石は口に長期抗戰を唱へるが、すでに戰鬪力を失ひ、士氣をなくしてゐる今日恐らく近く崩壞の日が來ると思ふ、又外國からの武器供給は外蒙、廣東、印度支那などから入る樣であるがどれ位のものかわからぬ

海相 外國からの供給があるとの報道は耳にするがどれ位のものであるかわからぬ

小山君ついで正貨現送について藏相に質したのち

小山君 媾和條項中の賠償金とはどういふ性質のものであるか

外相 賠償の意味は普通には戰爭後において戰勝國が要求する賠償のあらゆるものを含みわが在支邦人が受けた損失の賠償は勿論含んでゐる

小山君 政府は他日在留同胞の賠償問題に對してどう考慮する考へであるか

外相 政府としては支那側から求める全般の賠償問題とは離れて差當り在支同胞の損害及び事業の恢復について出來るだけのことをなすべく心配してゐる

小山君 帝國政府が支那に領土的野心なき理由をもつとはつきり言明されたい

首相 かくの如き野心をもつ必要がないのである、新政權が北支或は中支に成立する氣運を助長しその發展を期待することゝ支那の主權領土を尊重する精神とは矛盾しない、この點については世界の誤解をとくべく努力する必要がある

小山君さらに日支提携の意味について明答を求め

首相 支那事變の眞目的眞意義についてはなほ一層内外に徹底するやう努める

と簡單に答辯し、小山君これにて質疑を打切り三時二十五分休憩となる

衆議院豫算總會は午後四時五十六分再開

津雲國利君（政友）今回の海軍空軍の威力に對してけ驚歎に價するが、これを經驗として更に國防計畫上の具體案を有するか

海相 事變により得たる經驗から物心兩方面に於て益々訓練して行く考へであるが具體的に示す事は出來ない

津雲君 陸海軍兩方面に於て考慮してゐる對策案中豫算を伴ふものゝ實施に對して資材整備、國體充實費等既定方針に對し再檢討を加へる必要ありと思ふが如何

陸相 既に長期作戰に這入るとしても今回の事變の經驗に鑑みなければならぬものは一層重きを加へてゐる、航空にしても今日、支那以外にも備へなければならぬ、速にこれを充實せねばならぬ、又質的方面に於て速かにこれに應じた備へを進めねばならぬ

米内海相も同樣答辯をなし

津雲君 既定計畫その他遂行に要する經費は減ることはないと信ずるが如何

陸相 臨時軍事費について充分考究するが經費は增加するのが當然と思ふ

海相よりも答辯あつて津雲君さらに

臨時軍事費追加豫算が五億に上ることは豫想に難くないが、その中でも補充に要する經費が多いことは勿論であらう

とて國防費の膨脹を必至とすると結論して交通機關の充實、國鐵の改革等につき大野政務總監、中島鐵相、杉山陸相に質してさらに質疑を翌日に持ち越し午後五時四十五分散會した

衆議院本會議

【東京國通】二十七日の衆議院本會議は午後一時十五分開會、二十六日の豫算總會で即決可決を見た

一、昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案第一號を上程、田子豫算委員長より本追加豫算案は昭和十三年二月以降三月末に至る間の軍事扶助費を内容とするもので豫算總會席上滿場一致即決可決したものである旨を述べ、直ちに採擇の結果これまた滿場一致可決、ついで日程を變更して

一、昭和十三年度一般會計歳出の財源に充つるため公債發行に關する法律案

一、昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件に關する經費支辨のため公債發行に關する件）

一、對支文化事業特別會計法の特例に關する法律案

一、支那事變に關する臨時軍事費の財源に充つるため特別會計よりなす繰入金に關する法律案

ほか一件の政府提出の諸法律案を一括上程、賀屋藏相より提案理由の説明ありたる後、質疑に入り、先づ對支文化事業に對して

池田秀雄君（民政）日支兩國が眞に提携するためには東洋精神を復興し、東洋文化を復活してその上に立つて精神の融和をはからねばならぬが、現在の對支文化事業は餘りに小規模ではないか、今日こそ新事態に目覺め一大飛躍を行つて雄大なる計畫を樹てるべき時期であると信ずるが如何

と冒頭して

一、曲阜における孔子の廟を復興する考へがあるか

一、四庫全書の印行を援ける考へはないか

一、阿片絶滅工作に協力する意思はないか、上海自然科學研究所をして研究せしめては如何

外相 今日以後においては從來のやうな姑息な方法で文化事業を進めて行くわけにはいかぬと信じてゐる、今日の增額は從來の事業を幾分擴大する程度のもので外務省として文化事業のためやりたいと思ふ仕事の極く一小部分である、孔子の廟の復興については特に考慮したい

大野朝鮮政務總監 一、半島人の教育については帝國臣民の誇りを持たせるやうに努め、國民教育の徹底を期しつゝある 一、風俗習慣の一元化については折角努力中である

町尻軍務局長 朝鮮における兵役制度の關係は各種軍事施設ならびに各方面の狀況等より考へ今回の志願兵は確實に徴兵制度の縮圖と確言するまでには至つてゐない、然し將來良く研究して徴兵制度施行にまで進みたいといふ風に研究の進んでゐることは申上げることが出來る

代つて朴春琴君（第一）登壇志願兵制度實施につき全半島人を代表して感謝の辭を述べたのち

朴君 一、銀行券の區別を撤廢し、幣制、關税を統一することは出來ぬか 一、支那の出方は飽くまで暴虐を極めてゐる、この際もう少し撤底した聲明をする必要はないか

大野總監 繰入税については昭和十二年度より昭和十五年度迄に撤廢することになつてゐる

太田大藏次官 通貨統一問題については特に考慮したい

ついで松本外務次官よりも答辯あり、これにて質疑を終り前記諸案を一括して二十七名の委員に附託となし、次に

一、兵役法中改正法律案（政府提出）を上提、杉山陸相より提案理由の説明あり、これに對し

長野綱良君（民政）教育乃至産業上の必要から見て現行適齡期は滿二十一才を滿十八才に低下する考へはないか

陸相 現制度は民法上の青年期とも一致してをり體力的にひろく兵用に耐え得るので現制を採用してゐる、唯今變更の意志はない

田原春次君（社大）一、在營年限の延長に伴ひ在營兵の給與を現在の二倍位に引上げることは出來ぬか

一、地方議員が應召すると資格を失ふ事となつてゐるが、復員後直ちに復活出來るやう改正する考へはないか

一、戰傷兵士を國營工場等に採用する制度を兵役法に明記する考へはないか

陸相 一、給與の問題は將來において充分考慮したい

一、傷兵の就職については動員前に公職に就職してゐた人は勿論さうでない人でも就職を希望するときは優先的に採用することゝなつてゐる、一般國營工場その他も同精神で進むものと思ふ

海相 中島鐵相よりも同趣旨を答へ

木戸厚生相 一般會社の傷病軍人採用については熱心に努力したいと思ふ

末次内相 應召地方議員の失格問題に關しては目下研究中である

これにて質問を終り十八名の委員附託となる

一、國民健康保險法案（政府提出）を上程、木戸厚生相より提案理由の説明あり質疑に入り

中村梅吉君（民政）國民體位の向上には理論の徹底のみならず體育の普及奬勵をはじめ指導實施に主眼を置いて國民體育の根本的向上をはからねばならぬと考へるが如何

木戸厚生相國民體育の向上については全く同感なる旨を答へ、ついで西川貞一君（政友）醫療費の輕減と國家補助に關し木戸厚生相との間に質疑あり

北勝太郎君（第一）時局に鑑み積極的施設をなす考へなきや

木戸厚生相贊成なる旨答へ

佐竹晴記君（社大）一、保險行政の統合强化について何故生命保險、社會保險、健康保險等あらゆる保險行政を厚生省に統一し保險行政の强化をはからぬか 一、都市俸給生活者の健康保險實施の意志なきや

木戸厚生相 一、生命保險については種々論議があつたので一先づ除外した

以下何れも簡單に答へこれをもつて質問を終了、委員附託とし午後六時卅四分散會した

蒙陰に敵兵逆襲

【濟南廿七日發國通】蒙陰に進出したわが赤柴部隊の一部は廿五日午後四時頃突如支那軍約三百名の奇襲を受けたが約二十分間の後これを南方に擊破、敵は死體多數を遺棄して潰走した、わが軍輕傷者四名を出したのみである

暴る惡性行爲

高嶺子不時着ソ聯機に關し 外務當局談發表

舊臘十二月十九日濱綏線横道河子附近に高嶺子にソ聯飛行機が不時着し爾來滿洲國側によつて嚴重取調中であるが、ソ聯側は自己の不注意をも顧みず先般モスクワにおいて開催せられたソ聯最高會議においてもわが方を不當に非難する如き言辭を弄してゐる實狀に鑑み滿洲國外務當局は廿七日午後七時半左の如き發表を行ひその眞相を公にした

先般モスクワで開催された第一回ソ聯邦最高會議中一月十七日の會議においてジユダノフ（その後同會議常設外交委員會に選ばれた）は極東方面における日本及びその傀儡たる滿洲國の挑發的行爲は絶えた間がない最近には滿洲國内に不時着したソ聯飛行機が不法抑留せられ、ソ聯再三の要求にも拘らず滿洲國側は積載物も返還しない事例があるが外務人民委員部は東部國境におけるかゝる挑發的行爲を一擧永遠に葬むるやう措置をとるべきであるとの趣旨を述べ、モロトフ首相はこれに對し十九日の會議において「ソ聯邦政府は從來よりも强硬な態度で日滿側に對しソ聯邦の權利確保に努める」と答へて滿場の喝采を博した由であるが、吾人は相侯らずのソ聯邦の無智と虛勢と事實をまげたる牽强附會の言分には失笑を禁じ得ない、滿洲國が日本の傀儡でないことは

事實が

十二分に證明するところで今更説明反駁の要求はないが、この機會に吾人は滿ソ國境方面に於るソ聯邦側の挑發的行爲が積極的且つ極めて惡性であることを指摘したい

すなはち匪賊の支援、不法越境、拉致、射擊等のほか昨秋以來の極東鮮人中央亞細亞强制移住において鮮人及び國境附近にて不法拉致せる住民を何れも歸國を裝はせて滿洲國内にスパイ或は宣傳員として潛入せしめ、或は飛行機による不法越境に至つては昨年度以來十有八件を算へる有樣である、ジユダノフ及びモロトフの演説に引用せられた飛行機は昨年十二月十九日ウラヂオ方面から飛來して濱綏線沿線高嶺子（横道河子附近）に着陸したものであるが、右は表面郵便機を裝へるも機關銃及び爆彈懸吊の裝置を有する明瞭なる

軍用機

にしてわが方軍事機密特別地域を極めて低空をもつて通過し自國領を距たる二百キロメートルの奥地に着陸した、も一度はさらに深く滿洲國内に侵入し飛行したる後ソ聯に向ひ歸還の途次たまたま故障によりやむなく滿領内に不時着したもの、如くモロトフの演説において該機が道に迷ひ滿洲國内に不時着したる如く主張しあるも操縦士熟練の度から見ても又當日の天候の一般の地形から見てもかくの如き過失が行はれることは常識をもつてしては到底首肯し難いところであつて、殊に該機は羅針盤の指標がソ聯に向け歸航中なりし點、又燃料は充分ソ領まで飛行し得る餘裕を有したる點ならびに前述ソ側從來の

遣り口

等より見て彼等は何等かの目的をもつてわが重要地帶を故意に越境したるところたまたま機關の故障によりやむなく不時着したのではないかとの疑ひ濃厚であるので滿洲國側では目下愼重取調中である、しかして斯くの如き容疑者を嚴重取調べることは勿論、その終了まで機體搭載物を抑留することは滿洲國の當然の權利であり、しかして前述の如くソ側がその返還を威嚇的言辭をもつて早急に要請し來ることは却つて愈よ我方の疑惑を深からしむるものである

特務兵の戰死

【朱龍礄廿七日發國通】廿六日朝朱龍礄の激戰において田代部隊の野戰病院特務兵（東京市本所區太平町四ノ一七）は負傷せる戰友を後方に輸送の途中、敵の機關銃掃射を浴びせられ、この負傷兵を狙擊すゝ敵の暴戾に激怒し、負傷兵の銃をかりて敢然これに應戰し、敵機關銃陣地に躍り込んで忽ち二名を射殺したが、敵の猛射を受けて遂に壯烈なる戰死を遂げた

陸海荒鷲 各地猛爆

【上海廿七日發國通】陸軍飛行隊野中各部隊〇〇機は廿七日午前十一時過ぎ密雲を冒し徐州に飛び、徐州飛行場はじめ各重要軍事施設に猛烈な連續爆擊を敢行、格納庫、兵舍等を爆擊するなど多大の打擊を與へた、また他の一部は津浦、隴海兩沿線に飛び鐵道、鐵橋を破壞して敵重要軍事輸送線を遮斷し連絡路を完全に破壞した

【上海廿七日發國通】廿七日午前十時海軍空襲部隊は密雲寒風を衝いて長驅南昌に飛び飛行場を爆擊すると共に挑戰し來つた敵戰鬪機十數機と壯烈な空中戰を演じ七機を確實に擊墜、悠々歸還した、又千田部隊の一部は長驅漢口を衝き、飛行場及び各軍事機關に巨彈を浴せ多大の效果を收め全機歸還した、この日漢口上空には敵機影を認めず

人事往來

▲寺師虎之助氏（官吏）廿七日來京ヤマトホテル
▲中島洋吉氏（昭和製鋼所）同
▲坂屋幸吉氏（會社員）同
▲松本豐三氏（滿鐵社員）同國都ホテル
▲津田寛氏（吉川組）同
▲三橋多賀三氏（鑛業）同
▲瀧川傭美氏（官吏）同
▲荒井絲氏（今井組）同
▲森田正四郎氏（古川電機）同
▲小林敬次郎氏（會社員）同

偶語

今次支那事變の今までの結果から見て日本の都市は敵機の空襲下においてもビクともせぬ施設を痛感させられた▼そこで日本の心臟とも云ふべき大阪では十年後の大大阪を目標に軍事的、經濟的並びに文化的見地から最も理想的な綜合的交通網プランの大綱を決定近く實行に移すことゝなつた▼このプランの大綱といふのは市を中心に近接せる京都、神戸、奈良、和歌山の各大都市を結ぶ郊外電鐵をはじめ地下鐵、市電、省線等の各種交通機關の有機的一元化をはからんとするものである▼空襲下に自若たる都市施設を必要とするのは豈内地のみでない▼外國に境を接する滿洲國に於てさらにその首都たる新京に於てより緊要なることは言を俟つまでもなきことであるが▼現在の國都は果して空襲下に自若たり得るかを顧ると全身に戰慄を覺へざるを得ない▼市民各個の防空思想普及もさることながら政府は國都建設五ケ年計畫を更に延長して國都防衞完璧の施設をなす必要がある

今次事變戰歿兵士の 論功行賞を急ぐ 第一回發表は四月頃

[illegible]事紙が山積してゐる狀態なので一層行賞の準備に拍車をかけられてゐる譯で、同局でも[illegible]條總裁以下大童になつて陸海軍、外務當局等と打合せを行つてゐるが、第一回の發表は大體陽春四月廿六日の靖國神社臨時大祭合祀祭より前に行はれる豫定である

[illegible]いとの切々たる情愛をもつた一

社說
國家總動員法案の要項

[illegible]對策を原則的に規定しようとしてゐるものなのである。

要項には總動員物資及び總動員業務なる兩項を擧げてそれ〜その內容を明記してゐる。それを見ればいかなる方面に對してこの統制が行はれようとするものであるかを具體的に知ることが出來る。總動員業務の中に、情報又は啓發、宣傳に關する業務といふのがある如き、極めて明瞭にこの點を明らかにしてゐるのである。

而して平時に於ける總動員としては、各般の事項にわたり職業、能力等について申告をなすこと、技能者の養成について命令をなし得ること、原料材料について一定數量の保存が要求せらるゝことあるべきこと、戰時事變に備へての計畫を樹立せしめ又必要なる演練をなさしめ得ること、特定の場合に政府は利益の保障をなすとゝもに必要物資の生產又は修理を命じ得又必要なる設備をなさしめ得ることを規定してゐる。

戰時又は事變に於ける總動員としては、必要あるとき帝國臣民を徵用して總動員業務に從事せしむることを得、從業者の使用、雇人若は解雇又は賃金その他の勞働條件に付必要なる命令を爲すことを得勞働爭議の豫防若は解決又は作業場の閉鎖、作業若は勞務[illegible]

實業廳長會議

產業部の全滿各省實業廳長會議は二十七日午前十時より本部大會議室に於て產業部各司局長外關東軍、總務廳、經濟の關係官出席のもとに開催された、劈頭產業部大臣の訓示あり、ついで產業部官房會計科長より本年度產業部豫算說明、各司局長より夫々指示事項の說明あつて後各省より希望事項を提出懇談に移り產業五ケ年計畫遂行對策等種々協議を行つた

津浦線南部地方との郵政爲替取扱休止

【上海廿七日發國通】上海郵政管理局ではさきに蕪湖、寧國、廣德等との爲替取引を廢止しその他の地方は平常通りであつたが、滁縣、蚌埠を結ぶ津浦線南半一帶はすでに戰場と化したゝめ上海と安徽省との郵政、爲替の取扱ひを二十六日より休止することに決定、その旨發表した、これがため舊正を目前に控へて商人は非常な打擊を蒙ることになつた

滿鐵が軍經驗者募集

滿鐵人事課では昨年中等學校出身者中の軍務經驗者を募集し、この應募者四百五十餘名のうちから百八十六名(內中等卒業九十名)を銓衡したがいよ〜來る二月五、六、七八日の四日間に亘り滿鐵社員クラブで午前九時から口頭試問、體格檢查等を行ひ內およそ五十名を採用することゝなつた

蒙疆電氣通信設備株式會社 二月設立

【張家口廿六日發國通】かねて設立準備中の蒙疆電信電話會社はその後日本側との折衝成りいよ〜來る二月中旬日蒙合辦蒙疆特殊法人資本金一千二百萬圓(四分一拂込み)で蒙疆電氣通信設備株式會社として張家口に創立されることになつた、出資額は日蒙折半、蒙疆聯合委員會六百萬圓(內二百萬圓現物出資)日本電信電話工事會社六百萬圓となる模樣で、同會社は蒙疆聯合委員會の郵政、電政統制計畫に基きその施設維持を擔當し聯合委員會の外局として設定される郵電總局が會社に對し使用料を支拂ふもので同會社の配當は六分を維持する見込みである、事業計畫は三ケ年計畫により初年度事業費約五百五十萬圓で、拂込み額のほか不足額二百五十萬圓は社債乃至借入金によるものと見られるが、目下無線または簡易保險局にこれを仰ぐことになる模樣である、同會社の特色とすべきは民有國營で警備商用、鐵道等の各通信設備を一括して行ふ點にあり、蒙疆聯合委員會交涉顧問伊藤豐氏は會社設立の最後的折衝のため東上した

邦人紡績續々復興 上海一段と明朗化 各社輸出向け製品より着手

【上海廿七日發國通】事變勃發以來半歲にわたつて操業を中止してゐた邦人紡績各工場では銳意操業再開に努力を續けてゐたが、西部紡績地區においては公大第三工場が逸早く二月一日より一部操業を行ふことに決定した、すでに東部楊樹浦紡績地區に於ても一部試驗的に操業を開始した工場もあり、わが紡績の復興は失業勞働者の再採用と相俟つて上海の復興に一段と明朗化を加へてゐるが、現在奧地販路が遮斷されてゐるため各社とも輸出向け製品より手をつけるものと見られる

滿洲大豆の各國別輸出額

滿洲特產中央會ベルリン駐在員報告によれば、一九三六年十月より一九三七年九月までの昨特產年度における滿洲大豆の歐洲各國別輸入額は

國別	數量(噸)
獨逸	六一三、五六二
丁抹	二四九、四二四
和蘭	八五、〇九〇
英國	七〇、七一〇
伊太利	九、四二七
佛國	一六、九〇八
諸威、瑞典	一一二、二三一
計	一、一五七、三五二

で一昨特產年度(一九三五年十月—一九三六年九月)の歐洲向輸出總量一、〇二六、七五九噸に比し一三〇、五九三噸の增加である、而して各取扱業者別の輸出入數量はつぎの如し

業者	數量(噸)
ワツサルド	四〇二、九二八
三井	三二一、一八六
三菱	一三九、二三四
モデアノ	一三四、九七〇
日淸	八、七五〇
カバルキン	九、一五一
利豐	一三四、五八一
クンストアルベルト	五、五〇二

なほ獨逸輸入量六一三、五六二噸の中自他國船別取扱量はつぎの如く自國船が約二八、四二四增である

	數量(噸)
自國船	三二五、九九三
他國船	二八七、五六九

貴族院本會議

【東京國通】二十七日の貴族院本會議は午前十時二十分開會、國務大臣の演說に關する質問に入り

大藏公望男(公正) 現行官吏制度は法科萬能であつて一定の年限に達すれば局長なり次官なりに榮進する實情であるが、これ等のものによつて果して今日呼ばれてゐる革新政策が實行出來るか

とて官吏制度の全般的改正に質ていせば

近衞首相 官吏制度の改策については目下法制局において考究してゐるが、成案を得ゝ第樞密院に御諮詢の手續きを採る考へである 改正の要點は第一に任用令を改めて出來るだけ門戶を開放して民間の有能なる士を官界に入れる、第二に官吏採用の方法を改め法科萬能主義を是正し、第三には身分保障令に改正を加へ最近漸く身分保障の特權に馴れ、とかく「事勿れ主義」に陷つた觀のある各方面に淸新な空氣を注入することになつてゐるが、官吏身分保障令は政黨內閣時代において必要とされたものであつて、今日は最早その必要性が甚だ少くなつたからこれに改正を加へんとするわけである

ついで淺田良逸男(公正)人口政策確立に對する首相の所見を質し、次に防共戰の確立に重大關係をもつ蒙疆の獨立に對し政府は如何なる方針を有するや

ついで航空の問題に對し十三年度豫算を見ると陸海軍の航空は充實完璧を期してゐる、これは眞に心強く思ふが、一方民間航空の充實に對する方策如何

淺田男最後に國防問題に論及

一、軍の內容に大變革、大擴張を行ふ意思なきや

二、支那事變作戰を繼續するならば大兵團を五年や六年でなく相當長期にわたり駐屯させる必要なきや

三、右の結果常備と併せ莫大な軍事費を要するがこれに對する用意如何

四、よつて國民にこれが理解を與へ適切な處置をとる考へなきや

と質し答辯は後廻しになり午後零時二十分散會

爲替清算協定の締結考慮を商相言明

【東京國通】二十六日の豫算總會における勝正憲氏(民政)の質問に對し吉野商相は今後の輸出促進策として爲替清算協定の締結を考慮中である旨の答辯をなしたが、右に關し吉野商相は左の如く語つた

世界的に高關稅政策が採用されて自由通商が行はれなくなつた現在、輸出貿易を促進するためには爲替清算協定による以外に途はない、すなはち相手國の政府との間に一定金額の範圍內においては金の現送によらず決濟を行はず物資によつて淸算する協定を締結すれば金現送を節約すると共に輸出を促進することが出來る、未だ具體的交涉は行つてゐないが近くその實現に努力するつもりである、また爲替清算協定を實現すれば右に關する事務處理のため獨立の一局を設置することを考慮してゐる、淸算協定の相手國としては差當りドイツ及び米國を考慮してゐる

アスムス公使も肅工の犧牲

【モスクワ廿六日發國通】ソヴィエト政府は廿六日モスクワ技術研究所技師デュイアンスキーをフィンランド駐劄公使に正式任命した、これで昨年十一月十二日本國へ招還されたまゝ消息を絕つてゐたアスムス公使も肅淸工作の犧牲となつたことが判明した

瀧總裁の打診違ひと 樞府への非難
厚生省開設を繞る話題

[illegible]ゐることは世人としても一應耳を傾けて置く必要があるのではなからうか、樞密院が政府にとつて議會に優るとも又決して劣らぬ政治的威力を有つことについては過去の事例が雄辯に物語るところであらう、現に昭和二年の若槻內閣崩壞の直接導因が「臺灣銀行救濟に關する日本銀行特別貸付損失補償の緊急勅令案が樞府で否決された」のにあつたこと、及び田中內閣が例の不戰條約問題で樞府から散々に油を搾られ遂に「イン・ザ・ピープルス・オブ」(人民の名に於て)の憲法上の解釋につき樞府の見解主張に從ひ附帶宣言を附したことは結局田中內閣瓦解の直接原因たる滿洲某重大事件と相俟つて政府の政治的運命に重大な衝擊を與へたものとして未だ世人の記憶に新たなところだらう、尤も之については所謂「口も八丁手も八丁」以外に特殊な政治的藝能(?)を備へてゐたと定評のあつた伊東巳代治伯の老いて益々旺んな銳鋒が與つて力があつたことは勿論だが、今や伯亡き今日と雖も政府の存在は歷代內閣にとつて正しく議會以上の大きな障碍物であり、目障りな邀たいものであるに違ない、況んや五・一五事件以來の政黨の無爲無能な凋落頹勢の下にあつては、寧ろ樞府操縱策こそ政府にとつては議會工作より以上の重荷であり苦心を要するところとして覗かれるのだ、こゝに捉へようとする題材も亦斯うした政府の樞府に對する愼重な態度、深甚な用意とを裏書きするに足るものであること言ふまでもない

□

問題は新店厚生省開設に關する官制案の樞府御諮詢後の出來事である、政府は時勢の要求と時局の重大性から見て樞府の情勢を大丈夫とは見越しながらも大事に大事をとつて樞府の老人連に受けがよいと噂されてゐた近衞首相の信望な瀧企畫院總裁をして同案に對する樞府の空氣を豫め打診させたものだ、打診の結果は「萬事オーケー」と言ふ事となつたので政府も最初から安心しきつてゐたところが形勢は俄然沸騰硬化の兆を示し保險業者に對する監督權を商工、厚生、大藏三省の共管とする政府原案につきこれを從來通り商工省のみの所管とすべきだとの修正論が精査委員會に擡頭し如何共之を抑壓することが出來ず遂に政府原案は樞府の主張通り商工省一省の所管とすることに修正可決されてしまつた、さあ困つたのは瀧總裁だ、「お前こそ政府隨一の樞府操縱者だ」と折紙をつけられた面目上からしても今更診察違ひだつたとはいへず共苦衷については各方面の同情を呼んでゐるといふ譯だ、一度び斯うした失敗の試練を經た瀧總裁が此失地を果して何によつて回復するか?興味ある宿題として待望されるところだらう

□

斯うした瀧總裁に對する同情が手傳つた譯でもあるまいが、同案審議の直接衝に當つた精査委員の詮衡について半途嫌やがらせ的な非難の聲が樞府に向けて頻りに放送されてゐる事はまた何と皮肉な現象ではなからうか、詰り非難の眼點は斯うだ、樞府多年の慣例によれば元來御諮詢案について利害關係を有する者は共審議の公正を損ずる建前から精査委員長乃至委員には詮衡しないといふことになつてゐる、然るに右厚生省開設に關する御諮詢案の審議を付託された精査委員長荒井賢太郎男(副議長)の令息(或は女婿)は某保險會社々長の秘書役(?)であり、保險業者監督權の歸趨を商工省一省とすべきだと力說し、政府原案の三省共管に反對の急先鋒となつた原嘉道氏は某有力保險會社の株主代表だといふのだ、素より之等兩氏について不純な疑惑をはさむ餘地はないとしても斯うした背後關係が實在するものとしたら、さうした非難の擡頭も强ち無理からぬことかも知れない、苟くも斯うした非難攻擊の題材となるやうな禍根の種を樞府自ら蒔いたといふ點に於て樞府側にも遺憾の嫌ひがあつたのではなからうか

□

樞府の三省共管案反對の裏には長年保險業者の監督權を把握して來た商工省と其養老院視される保險業界との複雜微妙な宿緣關係が蠢動暗躍の原因として噂されてゐることも否み難い樣相らしい、從つて法制局を核心とする政府陣營では樞府の態度を以て商工省の策動だと憤る向きへ擡頭し、遂に主管は商工省とすると共に大藏、厚生兩省をも加へた三省共管に落着くことゝして樞府商工省との一脈相通ずるが如き策動(?)に斷乎たる制肘を下したやうな結果に歸したことは時節がらまあ無難な處置として[illegible]れやう、いづれにしても擧國一致國內の相剋摩擦の緩和をもつて時局に善處せんとする刻下の態勢に鑑みても斯うした消息は輕いナンセンスとして政界閑話の域を出ぬことを忘れてはならない(寫眞は瀧氏)

谷中將、重藤少將 參內

【東京國通】北支に中支に聖戰六ケ月赫々たる武勳を樹てゝこの度中部防衞司令官に榮轉、二十六日凱旋した谷壽夫中將ならびに同じく榮轉凱旋した重藤千秋少將は二十七日午前十一時參內、宮中表御座所において天皇陛下に拜謁仰せつけられ詳さに任務奏上御下問に奉答して御前を退下したが、陛下にはそれ〜御紋章つき銀花瓶一個づゝ賜ひ、南溜間において十一時半から酒饌を賜り兩將軍は光榮に感激して正午宮中を退下した

ハワイ在留邦人 慰問金百萬圓

【ホノルル廿五日發國通】ハワイ在留邦人は總領事館或は邦人新聞社を通じて自發的に國防費、恤兵費の獻金を續けて來たが、最近は出身鄉里の町村役場に同村より出征した將士の家族慰問金募集も開始され、便船ごとに鄉里の町村役場に送金されて居る、その額は去る十日までに既に邦貨百萬圓に達せんとして居り、なほ續々委託されつゝある狀況である

父子二代の親日通譯 青島の呂君一家
父呂梅五君は勳八等の殊勳者

【青島廿六日發國通】日本海軍特務部の通譯として青島育ちの支那人に相應しい流暢さで日本語と支那語を話し海軍將士の任務遂行に非常な便宜を與へ、その活動ぶりを稱讚されてゐる呂紹文(二二)君の父で、電報局に通譯を勤める呂梅五(五六)氏は、日露日獨兩戰爭の際に日本軍の通譯として働き勳八等の勳章を賜つた人で、今次事變には息子の紹文君が日本海軍の通譯となり、父子二代にわたりわが軍に奉仕した親日支那人であることが判明した、同氏を電報局に訪れると五十六歲と思へぬ若々しい人のよささうな顏だ、同氏はわが部隊の活躍の跡を回想しながらポツリ〜と語る

私にとつては通譯が適職なのです、今は年老いて兵隊さんと一緒に働けぬから兵隊さんの方は息子にお手傳ひをさせ、私は昨年十二月二十七日電報局員の一部が逃亡したのちこゝで働いてゐます、日本人が總引揚げをなしたのちはわれ〜のやうに日本語を話し日本人について働いてゐた者は漢奸として閉ぢ籠つたまゝ紡績工場の爆破される每に身の危險の一層迫るを感じ小さくなつて早く日本軍が來てくれると良いがなとそればかりを願つてゐました、日露戰爭のはじまつた頃私は二十一歲で鄉里營口にゐましたが、ロシヤ人の壓迫に憤慨してゐたので直ちに日本軍に從ひ、大山元帥の總司令部に通譯として採用され、日本軍のため內蒙古の新民まで馬を買ひに出かけたり密偵を搜査したりしました日露戰爭中最も想出深いのはロシヤの後方輸送を妨害するため太子河の鐵橋を破壞に行き見事に成功して歸り同僚の日本人七名、支那人十三名と共に大山元帥から「お前達の功は拔群であつた」と褒められた時は一番うれしかつた、その時の功で勳八等を戴きました、日露戰爭後は旅順で關東都督府に仕へ警察方面の仕事をしてゐました、神尾中將とはその昔から知合でしたので日獨戰爭がはじまるとすぐ神尾中將から呼ばれ通譯三名をつれて山東に渡りドイツ人の手先となつてゐる支那人スパイの檢擧に働きました、戰ひが終つてから憲兵隊に入りましたが間もなくそこを辭め阿部法律事務所で通譯をしてゐました、私の息子も一緒に阿部さんのところで働いてゐました、青島へ日本軍が入つたことを私は誰よりも嬉しく思ひます、日本人の手によつてこそ青島は立派な街になれると思つてゐます

商況欄(廿七日後場)

株式相場(短期)

⊙奉天株式

銘柄	寄付	大引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
滿重	[illegible]	[illegible]
同電	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
日甲	[illegible]	[illegible]
電毛	[illegible]	[illegible]
化學	[illegible]	[illegible]

⊙大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿電	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

新京取引市況(廿七日後場)

品目	寄	引	出來高
大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉蜀黍	[illegible]	[illegible]	[illegible]

手形交換高(廿七日)

[illegible]枚 一、二三[illegible]圓

滿鐵附屬地卅年史

新京商業學校 沿革史（五）

体育狀況及び事變の活動

（六）體育狀況

創立當時（大正九・十年）に於ては共同事務所の三階を假校舍とし町内民屋を假寄宿舍となせしものにて、運動場等勿論なく初代校長森川勉氏が生徒の爲擲懸の涙を流す事幾度かと追憶せられし言にて窺く新校舍に移轉せし頃は春より秋迄は武道戸外運動を行ひ、多は卓球とスピードスケートを少しづゝやる程度のものだつた

大正十四年武道場完成してより武道亦盛となり、生徒此の道に精進する者多くなり、職員中にても元氣旺盛なるもの生徒と共にこの技を練るあり、校長又自ら率先して運動を精勵せられしためやうやく全校の運動の氣勢上るに至つた

昭和四年新築校舍完成し、昭和三年氷上部に氷上ホッケーを取入れ、醫大より庄司氏をコーチに迎へ、三上氏（現奉天千代田小學校長）氏を部長に戴き小數部員なりしもまとまりたるチームを編成せり、今日の基はこの時既に造られしものなり又ラグビー部を新設して校友會の運動部は劍道柔道こ共に競技卓球スケートの五部となれり

職員間に於ては三十八聯隊伊藤少佐の斡旋によつて騎兵二聯隊二十聯隊步兵聯隊の軍馬十數頭を借り受け騎兵將校の指導により大いに乘馬熱を上げ屢々長春郊外へ遠乘を試みたり、この職員乘馬部は昭和六年迄繼續せり

昭和四年に至り籠球部起り武道部に於ては全滿中等學校大會に劍道部柔道部共に優勝し大いに武道部の意氣擧がるに至つた、昭和五年氷上ホッケー部は全滿に覇を稱へ京商のホッケー部として全滿に共の明かなる存在を認めしめたり、この年柔道部も亦優勝せり、此の頃は全學校の運動熱最も旺にして生徒も職員も擧つて體育運動に精進せしものなり昭和六年東校長時代となり柔道部又々全滿に覇者たるの榮を續けホッケー部は醫大主催の大會に敗れしも州外中等學校大會に於いて再度優勝せり

昭和七年全體として運動は衰へ氣味なりしも籠球部は活潑なる活動を繼續せり柔道部は惜くも優勝戰に於て引き分けとなり連勝中絶せり、氷上ホッケー部又々州外中等學校大會に優勝し三年の連勝成る、職員乘馬部この年より中止せられたり昭和八年硬式野球部中止せらる、武道部引き分けとなり氷上ホッケー部は四年連勝せり

昭和九年は學校問題起りやゝ衰微の狀態にて昭和十年にうつれり、昭和十年創立以來振はざりし陸上競技部を再興し部員三十名集れり又籠球部排球部が盛になり對外試合をなすに至れり硬球野球又再起せしも振はず、柔道部又々州外中等學校大會に優勝せり

氷上ホッケーも亦優勝せり學校内の體育は再び盛となり全校生徒職員共に放課後の運動を行ひ昭和七、八年當時の盛なる狀態にかへせり

昭和十一年野球部は廢止せり、ラグビー部最も盛に練習せしも奉天の大會に敗れたり

庭球部は最も多くの部員を有するも振はず、柔道部ホッケー部は共に連勝し、特にホッケー部は都市對抗に優勝し全滿に覇を稱へたり

昭和十二年ホッケー部全日本中等學校氷上大會に優勝し、スピード部第二位となつて全日本中等學校氷上綜合選手權を獲得せり

現在の體育方針

（イ）當地の如く冬籠りの期間永き地方にありては換氣不十分紫外線不足等により成長の過渡期にある少青年に與ふる障碍は眞に怖るべきものあり、よりて當校にありては健康第一を標語とし力めて戸外運動を奬勵し酷寒と雖も體操時間には全生徒にスケートを行はしめ又毎日第二三時限の中間に二十分間の步行時間を置きて外氣と日光とに接する機會を多くせしめつゝあり

（ロ）選手養成に偏らず一般體育の向上を目標とす柔劍道スケートを正科とし課外運動を課す、されど有力なる選手を養成して他校との競技に覇を爭はしむることも一般生徒の運動熱を高め愛校心團結心の養成に効果ありと認め適當に奬勵しつゝあり

（七）滿洲事變に關する本校職員生徒の行動並に事績

一、長春飛行場建設作業

昭和六年九月二十日長春飛行場設置の命令軍部に下り駐劄步兵第三旅團司令部より本校に對し工事援助の依頼を受くるや本校職員生徒四百名は校長引率の下に逸早く飛行場豫定地に集合し二日間炎暑と饑餓とを忘れ作業に從事せり

當時長春戰鬪の直後にして支那苦力は恐れをなし軍部の徴發に應ずるもの尠く然も職況は飛行場の急設を要せる情況なりしを以て長春商業學校職員及生徒の作業從事は洵に機宜に適せる行動にして軍の作戰に貢献せる處尠なからず

二、騎兵第二聯隊勤員業務援助

九月十八日事件突發の當夜本校生徒第四第五年生は野外教練の爲公主嶺騎兵聯隊に宿泊中騎兵聯隊の出動準備に當り兵器材料の運搬準備を手傳ひ又乘車に際しては之が積込を援助せり

三、臨時火葬場の建設作業

寬城子南嶺の戰鬪に於て我軍に相當の戰死者を生じ茶毘に附するため長春火葬場を使用されしも狹少にして間に合はず臨時火葬場の建設を必要とせり、然るに當時敗殘兵は各所に出沒し馬賊亦鐵道沿線に蜂起して鐵道及附屬地に脅威を與へ軍隊は之が警備の爲出動を要し戰死者を顧るの暇なかりし際なりしを以つて、本校生徒は率先して臨時火葬場建設の行業に從事し獨立守備隊步兵第一大隊南嶺戰死者倉本少佐以下三十八名を茶毘に附し長春駐劄獨立守備隊をして後顧の憂なく警備の任に從事せしめたり

ガンバリ二郎ちゃんの 面目躍如たり

逝ける鈴木國通記者の馳驅

北支報道陣の華と散つた鈴木二郎記者は昨年九月十日新京より勇躍從軍の途につき

殉職 した今日まで約四ケ月半の間主として山西戰線を馳驅、神速果敢な皇軍の戰鬪狀況報道に身命を賭して活躍してゐたものである、鈴木記者の從軍した部隊は平綏線鐵來より蔚、廣靈、渾源の戰線を經て天下の嶮、雁門關を突破、崞、原平忻州の要害に必死の抵抗を續けた敵の精鋭を蹴散らし山西軍の命とたのむ太原城に一番乘りして偉功を樹てた〇〇部隊で同職線中の鈴木記者は常に第一線部隊と行動を共にし韓道職線に赫々たる功績をあげ、皇軍將士から「ガンバリ屋二郎チャン」の愛稱をもつて呼ばれてゐた、太原攻略後は國通、同盟、太原支局長としてニュース報道のかたはら同地方の治安維持、外人居留民の救恤等に不眠不休の努力を續け、また陣中ニュースを

發行 してそれを新聞ラヂオ等の設備に惠まれない陣中の將兵に配布するなど實に「ガンバリ屋二郎チャン」の名にそむかぬ八面六臂の活動振りを示して各方面の賞讃を拍してゐた、現在太原には山西新民報が發刊機關として山西唯一の報道されてゐるが、これは鈴木記者が發行した陣中ニュースがキッカケとなり、矢刎太原特務機關長の懇請で同記者が治安維持を使命として創設したものである、同記者が最初敗殘兵の手榴彈を受けて重傷を負つた旨を聞いた時矢刎機關長は

鈴木君の戰地における活動振りは單に新聞人としての働きばかりでなく、ある時は宣撫班員として、ある時は救護班員としてあらゆる機會を捉へては地方民衆の更生工作に活動してゐる、殊に太原に殘留してゐた獨伊英米の各國人がわが出兵の意義を即座に諒解してドイツの技師は進んで各工場の調査に協力し、イタリー宣教師は自ら支那避難民に對し日本軍の信用を宣傳し白系露人は物資の調達に力を致すといふ好意を見せてくれたことはこれ皆鈴木君の力によるものであつて、山西の治安維持に多大の效果を與へたことは特筆すべき事績である

といつてゐる、この讃辭こそ從軍四ケ月間における鈴木記者のすべてを物語るものであらう、鈴木記者は昭和六年早稻田大學政經部卒業、同七年七月夕刊帝國新聞社入社、同十年九月時事新報社入社、社會部擔當、同十一年十二月同社の

解散 で退社、その後同十二年五月滿洲國通信社に入社して從軍前まで社會部を擔當してゐたが明朗快活な同記者の性格は編輯局員の總てから親しまれるところとなつてゐた、鈴木記者の家庭は須美江夫人との二人暮しで從軍の社命をうけるや同記者は家庭一切の處理をつけた上病弱の夫人を郷里東京に歸らせてゐるが、新京驛を出發の際、見送りの同僚達に

家庭のことを全部始末して來たからこれでサバサバした、心殘りなく從軍出來ると語つてゐた、忻口攻撃の際第一回の戰傷を負ひ、屈せず更に從軍して第二回目の負傷となり、それが致命傷となつて殉職した、あれやこれやと思ひ合せれば「從軍の社命をうけた瞬間

既に 報道報國の悲壯な決意が二郎チャンの胸中にあつたのだ」といま同僚間の故人を偲ぶ悲しい話題となつてゐる【寫眞は鈴木氏】

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

時局講演會を時々開催せよ

謹啓時局柄貴社益々御多端の段奉賀候陳者國家擧國一致此の重大時局に望みつゝある秋二十四日滿鐵支社主催、時局講演會を開催せられ實に時局に適宜せる催にて銃後に於ける一般民衆の第一線に寢食も忘れ國の護りとして活躍される忠勇なる將士に只々感謝の外無之ものに候斯る催を今一度公會堂にて開催方を貴社の御盡力により一般民衆の爲めに將亦擧國一致の大精神涵養の意味に於ても多大なる効果ある事と存ずる次第に御座候何卒代谷大佐殿には御迷惑の事とは重々御詫び申上候へど此際貴社の御盡力により開催方只管御願ひ申上次第に御座候（一在郷軍人）

日本競馬會獻金

【東京國通】日本競馬會では昨年秋季小倉および中山競馬以來横濱、東京、阪神、京都の六競馬場に馬事國防獻金競走を設置したが總額四十八萬二千三百三十七圓八十八錢となつたので廿五日理事會の結果陸軍に獻納することゝなつた

哈市航業聯合局 昨年貨物輸送高

哈爾濱航業聯合局康德四年度開江より封江に至る扱ひ貨物總數は八十萬三千九十噸にして、前年度に比し四萬三千百六十六噸の減少となつてをりこれが減少の原因としては

イ、圖佳線の開通による輸送系統の變更

ロ、五月下旬水位低下による船舶航行難

ハ、荷役不足による石炭の船積不振

ニ、天候不良による沿岸小麥減産と地場消費の激增による出廻り減少

等が生なるものとみられてゐるが、一方開江當初激減を豫想されてゐたゞけにむしろ豫期以上の好成績をあげたものといふべく圖佳線の配車その他輸送機能の未整備、從來の商習慣による惰性、碼頭諸掛り高および哈爾濱の相場高その他沿岸開拓による中間碼頭輸送の躍進的旺盛化等の好條件に惠まれて依然輸送關係における北滿諸河川の重要性とその將來性を物語るものといへよう

康德四年度開江より封江に至る（自四月廿日至十一月十二日）貨物全輸送數量および前年比左の如し（單位噸）

	本年度	前年度比較
△大豆	一七五、七六三	増 六、八四五
△小麥	九五、四九一	減 五三、七四〇
△雜穀	三四、四九四	減 一三、四五五
△石炭	二六七、一七一	増 二四、一九六
△石材	一三、三三五	増 四、九六〇
△木材	五七、一〇七	減 一五、九一七
△薪	一五、〇七五	減 九、一三四
△鹽	一、八四〇	減 四一九
△その他	一〇四、八三四	減 三一、五〇四
合計	八〇三、〇九〇	減 四三、一六六

豐かに異郷の同胞を思ふ

今次の支那事變 さきの滿洲事變——共に

矢〃矧〃鞆〃子

皇軍の征くところへは忽ちにして吾々の血をわけた親愛なる同胞が、異境ものかは、陸續としてこの新境地に雄々しい生活を設計し文字通りの國力暢張を示す

これらのうちには、年若きいはゆる大和撫子の數多くも含まれ、殖民と新附の上に大きい寄與をなしてゐる

それにつけても、皇軍が占領後の域內から屢々勇敢なる日本女性がこれを迎へる情景に遭遇することの愉快さに心躍る、邊疆の北支大同はじめ中央各都市に、また最近では軍屢の虎口より脫れて、話題を供してゐる女性もある

日本女性が普通

一般が考へてゐるやうな極めて消極的な生活方法しか持つてゐないものでないことが、この一事をもつてしても充分了解されるであらう、萬一の場合日本人の誇りを抱いて死鬪する覺悟あつてこそ、奧地や危地に生活し得るのである、彼等彼女らの祖國愛は、この姿においてはじめて崇高の限りといふべきである

南米に、北米に、濠洲にと、遠く故國を離れて立ち働いてゐる日本人は今もなほ相當ある、これの同胞達はそして一やうに母國の興隆を祈念し、老後、父祖の墓石の下に溫く眠らんと希望してゐる

このことが日本

人の異境における移住固着を困難にしてゐることは事實であらうが、然し遙かなる遠隔からもなほ祖國を懷ひ且つ祖國を祖國として愛する觀念あつてこそ、この皇國の隆盛が期されるのだと豐かな心持ちで、海外の日本人を更めて眺めることが出來る

× × × × × ×

思はざる疾病 合成染料の常識

●●子供には危い事ばかり●● 取扱上の一般注意

科學藥品が使用されて日用品には極めて美しい色彩が塗られるやうになつたが、其染料には有害なものもあり、マヽートを誇る絹靴下などにも使用されて思はざる疾病に罹ることがある、そこで有害染料に就いてお話しませう

各種日用品の着色に使ふ染料は昔は植物から採つた紅、藍などが主でしたが、近代は科學の進歩に伴つて

◇……合成染料が……◇

發達した結果赤、青、黄、紫などとりどりに美しい色は藥品でつくり出すやうになり、その色も極めて複雜して千近い數をつくるやうになり、科學藥品の色調を專ら使用し、ほとんど天然染料を驅逐してあらゆる染色に應用されるやうになりました、それは天然染料を使用するよりも合成染料の方が

◇……値段が安く……◇

鮮麗な色を出すことが出來るためですが、たゞ中には人體に極めて有害な作用を及ぼすことがあることが缺點で使用家もこの際注意しなければいけません。外國などでは色彩美しい絹靴下を使用した麗人が脚の皮膚に炎症を起して苦しむ例が非常に多いのです。これは刺戟性色素によるものです、だから、水につけて色が水に滲み出るやうなものは

◇……大體危險で……◇

すから注意しなければなりません、從つて肌着、靴下など直接皮膚にふれるものは白地のものを使用した方が安全です、有害染料は直接皮膚に害を與へるのみでなく、口から胃腸に入ると消化支障を來して危險なことがあるので、子供の母親は注意が必要です、赤ちやんなどよく衣服をしやぶつたりするものです、又、玩具等をしやぶつて

◇……口の周圍を……◇

眞赤にして居ることがありますがいづれも危險千萬で、赤ちやんが何も食べないのに突然消化不良を起したりするのは色素をしやぶつた結果が多いので、お母さん方は十分注意すべきで、赤ちやんの衣服は洗濯しても色のおちないものを選べばしやぶつても安心です、子供の皮膚は弱いから危險を除くためにも色彩の美しいものを避けて

◇……白いもの……◇

方が安全です

玩具もけばけばしい色を塗つた粗惡な品は除くべきです、次に注意を要するのは子供が喜んで使用するクレヨン、色鉛筆です、色鉛筆などけづつた粉を吹いたところこの粉が周圍の子供の目に混入つて大勢の子供が一時に結膜炎を起したといふ實例がある程に危險な場合が多いのです、だから子供が

◇……クレヨンや……◇

色鉛筆をいぢつた手ですぐ目をこすつたりお菓子をつまんで食べたりするのは絕對に禁じて必ず手を洗ふ習慣をつけなくてはいけません。

色素の中でも綠色のマラカイトグリーン、紅色のローダミン、黄色のオーラミン、紫色のクリスタルバイオレットなどは殊に有害です

料理獻立

大和芋の寄せ物

舊のお正月も近づきますがこの寄せものはお口取にもなりますし、又お食後の甘味にもよく、燒魚のおつけ合せにも向くものでございます

【材料】（五人前）
寒天 一本
大和芋 五十匁位
砂糖 大匙六杯
鹽 小匙半杯
レモン汁（又はみかん汁） 少々

大和芋はふかしてこし、とかしてこした寒天その他の材料と合せ流し箱でかためます。

妊娠期にはカルシューム補給

これが安產難產に關係

△……「案ずるより產むが易い」といふ諺がありますが、それは妊娠期に於ける生理上の常識を心得て其僅かな手當を怠らぬ人達にのみ通用する言葉です、妊娠期に於ける生理上の變化と申しますと、先づ第一は胎兒の榮養といふ事です、發育の盛んな胎兒の事ですからドシドシ母體から榮養を吸收して同時に老廢物を排泄するものです、處が此榮養分中蛋白、含水炭素（澱粉）脂肪などは日常の食物に澤山含まれてゐるから不自由はありませんが、唯困るのはカルシュームだけです、御存じの通り胎兒の骨格の約八割はカルシューム分で之は凡て母體から胎盤を通じて攝取されるのです、其カルシューム分は普通なれば母體が食物から攝取するわけですが、元來日本人の常食たる米の中には殆どカルシューム分が含まれてゐないので、カルシューム分が不足がちです。

△……食物からのカルシューム分だけで不足の時は今度は止むを得ず母體自身のカルシューム分、例へば骨骼、齒牙の樣な中に含まれるカルシューム分を容赦なく溶解して胎兒の榮養に充てゝ行くのですかゝる場合胎兒そのものゝ發育が阻害されるのは元よりの事ですが、それ以上に影響を蒙るのは母體です、第一顏面が蒼白になり所謂黛ずんだ冴えない妊娠顏貌となり便通が惡くなり、いやな惡阻が頻發し、胎兒より生ずる老廢物の毒素に對する解毒作用が不充分になるので母體が衰弱して子宮の收縮が弱められ自然お產が重くなるといつた結果になります、殊に結核質の母體の場合にはカルシューム分の不足は忽ち抗病力の減退を來たし往々にして取り返しのつかぬ大事を惹き起します。

△……斯樣に怖るべき妊娠期の異常の大半はカルシューム分の缺乏から起るので、之に備へる爲に平素からカルシューム劑を服用して之を補給するといふことは生理學上からも榮養學上からも極めて大切な事で、此僅かな手當によつてお產が極めて輕くなり、乳兒の發育も佳良になり、產後の肥立は順調に運ぶのですから、なあにカルシュームなど馬鹿にせず是非共カルシュームの補給を怠つてはなりません。

履物の汚れ スッカリ綺麗にする法

▽…流行の如何を問はず、この季節では履物は先づ表つきといふところでせう、下駄でも草履でも、その表の薄よごれたものをはいていらつしやるといふことは、それこそ全體の容姿を足元で台なしにしてしまひます、お手入れをなさること。

▽…先づぬるま湯で刷毛洗ひをし、醱茶匙一杯の湯にとかしたものを刷毛で塗り疊の目に從つてこすりますと、これで汚れが落ちますから乾いた布で拭きとつて乾かし、乾いたところで茶碗の腰のところで疊目の方向に強く摩擦しますとすつかりきれいになります。

新刊

雄辯（二月號）

◇「東洋平和と日本の將來」小林一郎「南京陷落と英國の第二期戰」小室誠……◇まづ太平洋問題の權威鶴見祐輔氏の「太平洋時代と日濠關係」穗積重遠博士の「婦人は國家の整備員」◇稻原勝治氏の「世界に對立する二大國家群」チェッコのエマニュエル大佐の「日ソ戰爭とその戰術」及び印度志士R・Bボース氏の「老獪英國の世界政策」◇「新內相末次信正論」に阿部眞之助氏等。

現代（二月號）

◇「日本外交の態度」林毅陸「我が國財界の動向」服部文四郎「列強の動きと支那の足搔き」稻原勝治……の三大論策に續いて、最も見るべきは興中公司社長十河信二氏の「北支開發の進展」なる一文だ、經綸に富む筆者の達識眼が、この一篇に縱橫の飛躍を見せてゐる、まさに現下必讀の名論策といふべきである。◇特輯の「日本南進論」には池崎忠孝代議士が「英勢力の驅逐」を叫び鶴見祐輔氏が濠洲大陸への示唆を論じてゐる◇「穗積博士帝人事件の大辯論」瀨戸口寅雄「戰慄の南京脫出手記」ジョン・ルイズ・ジュニア「末次新內相論」下中彌三郎「大旋風下のソ聯」久野豐彦……これら一聯の重要記事の間にあつて、支那從軍記者（上海大公報）秋江君の「夜渡河を渡る」……太原城陷落前夜記……はその興味深いことに於て、斷然たる一異彩◇創作には加藤武雄氏の「明智光秀」其他。

けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局〕 廿八日（金曜日）

朝

七、五〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
八、一〇ニュース 氣象通報
八、二〇初等滿洲語講座（大連）
八、四五朝の音樂 講師 秩父國太郎（大連）
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
九、四五建國體操
一〇、〇〇家庭講座（哈爾濱） 百人一首の話 哈爾濱高等女學校 神宮司安
一〇、二五料理獻立（大連）
一〇、三五家庭メモ
一一、四〇經濟市況（東京）

晝

一一、五九時報（東京）
〇、〇一晝の演藝（レコード）
〇、三〇ニュース（東京・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）ニュース・氣象通報（新京）
五、二〇ニュース（鮮語） ラヂオ隨筆（鮮語） 虎 李台雨

夜

六、〇〇子供の時間 お伽歌劇（大阪） 竹取物語
六、二〇コドモの新聞（東京） キタノハナ歌劇研究會 村岡花子
六、二五趣味講演（奉天） 正月の支那芝居 辻忠沿
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇國民唱歌（東京） 獨唱 內田榮一 伴奏 東京放送管絃樂團
一、金槐集より 源實朝作 佐々木すぐる作曲 池讓編曲
二、子等を思ふ 山上憶良作 荻原英一作曲
七、四〇（東京）—內容未定—
八、〇〇チエロ獨奏（東京） AK文藝部編曲 高勇吉 ピアノ伴奏 エネ・シュレーター
一、アンダンテ ダヴイドフ作曲
二、ゴパック ムソルグスキー作曲
三、ヘブライの唄 ストツチエフスキー作曲
四、ボボリの夜曲
五、演邊の歌 スガンバーテイ作曲 成田爲三作曲 高勇吉編曲
八、二五連續ラヂオ小說（東京） 人生劇場（上） 尾崎士郎原作 高田保脚色 出演 新國劇 演出 高田保
九、〇〇時事解說（東京）—未定—
九、二九時報・ニュース・ニュース解說（東京）ニュース・氣象通報・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱） アナウンサー 宮岡 野村

入選佳作……徐承喜（一）

山……下……明

友あり一夜來りてその心懐を述ぶ。依つてこのつまらぬものを草して徐承喜の靈に捧ぐ

私と徐承喜とは丁度同じ日に會社に入つた。

私は彼女が半島生れであるといふことは、最初の日人事課の人が私と彼女とを各課に挨拶につれて廻つて呉れた時「今度タイプライターの方に入られた徐さんです」と彼女を皆に紹介したので初めて知つたのである。――その朝私が會社に出頭し暫らく待つてゐるやうに言はれて應接室に入つてゆくともう先に一人の娘が來て待つてゐた。

「あなたも今日から――??」

と訊ねると

「えゝ、さうですの。どうか宜敷く」

と立つて挨拶するのであつた。愛嬌のある而も上品な顔で、均勢のとれた立派なスタイル、その他物腰し言葉つきすべて半島生れの娘とは全然思はれなかつた。――それが徐承喜であつた。

同じ日に一緒に入社したといふことが私と徐承喜とを近づけた一つの機縁であつた。それにも増して彼女の美しさが私をして彼女に近付けしめた大きな原因であつた。私には彼女の中に內地の女にはない艶麗と甘美とが潜んでゐるやうに思へるのであつた。

二十三にもなつて朝鮮の女が一人でゐる筈はないよ。――これが徐承喜に對する會社の同輩達の一致した觀察であつた。

私は晝休みの時間に、會社の近くのビルの喫茶室の隅で彼女とお茶を飲み乍らしつこく彼女に聞くのであつた。

「もう彼氏あるんだらう？」

「ないのよ。そんなに信用しないのだつたら私のアパートに來てごらんなさい」

彼女はいつも否定し續けた或る日曜日、私は彼女を誘つて南嶺へ遊びに行つた。――辨當と果物と菓子との包みを下げて私はその朝徐承喜のアパートを訪ねた。附屬地と支那街との境の貧弱たアパートの三階の四疊半はそれでも質素に片付けてあつた。書棚から東京の女專時代の寫眞を出して見せてくれた。それは友達とボートに乘つてゐる寫眞や、校庭のコスモスの蔭で頭をかしげて立つてゐる寫眞などであつた。

「子供の時の、朝鮮服のはないのかい？」

ときくと

「まあ、いや！――」

と顔をしかめて愧ぢらふ。

「どうしてさ。僕は徐さんが普通の日本の娘だつたらちつとも魅力は感じないだらうがね」

彼女の懸つぽい瞳はその意味を解し兼ねるやうにチラッと疑はしげに私の顔を見上げそれからうつむいて默つてしまふ。私は彼女が半島生れであるといふことを言はれるのをひどく嫌がつてゐることを知るのであつた。

そして尙更彼女がいとほしくなつてゆくのであつた。會社の給料だつて仕事は一人前にするのに皆より安いのである。その日南嶺の靜かな秋草の中で、私は初めて眞面目に彼女に私の心の中を打ち明けた私の熱した息吹が彼女の頰にかゝり、常でも赤い彼女の頰が眞つ赤になつた。そして私と彼女とはしつかりと手を握り合つた。

その晩、私の部屋で、私と徐承喜とは眞實お互の愛情を誓ひ合つたのである。

かうして私と彼女との關係は續いて行つた。――（續く）

淡き綠は

猥 幸 夫

淡き綠は春なるや
君が羽織の色こそは
淡き綠よ 縫ひとりて
薔薇の蕾を浮かせけり

淡き綠は春なるや
われは艶なる夢を見き
淡き綠のひろき野に
薔薇は眞紅に開きけり

淡き綠は春なれど
狂ひて咲ける薔薇なれば
伸べしわが手の觸れしとき
ああ　たまゆらに萎れける

君　わがまへに立つ今宵
濃青の羽織つみなせる
黒き落葉の袂もて
愛しけき面を沈めたり

廣告

堀井正一

どうも、から斷つておかないと、氣がひけて、面はゆくていけぬ。

それにこんなことを新聞に書くのもどうかと思はれるのだが、去年から同人連中集ればきつと、みんなぢやんぢやん新聞にでも書いて廣告しなくちやねえと云ひながら、お前書けよ、お前がやれよと云ひあつて、結局去年は誰も書くものが居なかつた。

それに去年の末からは新京文藝集團も積極的に滿洲に乘り出す方針で、編輯もパンフレットから同人雜誌風に轉じて來て居るので、年改まつたこの際大いに廣告をしておかうと云ふのである。

かげで豪氣なことを云ふ癖に一人では心臓の弱い連中、本は刷つたが誰も掛け合ひに行く者が居ない。では二人位でと云ふので高木、今村、玉置、僕と仲でも心臓の强さうなのが森野を振り出しにでかけた。

第一輯新土のときは、どの書店もどの書店も、賣れませんのでお返しするときにお氣の毒ですからとか、本を置くも場所がありませんので、とか何とか云つて、いつかな置いてくれさうにない。

引つ込みがつかないまゝに粘つて、とうとう森野に十五、鐵松堂に十、大阪屋に十五、多以良に十と置いて來た。

第二輯凍土を抱へて出かけてみると森野、鐵松堂は全部賣り切れ。賣れるんぢやなあと高木と氣をよくし、少しれて歸つて來た。

一部定價二十錢、一部て十五錢の所得、けれど三百刷つて七十六圓の印刷費故、全部賣れても損。か、賣れないよりは賣れた方がよし。

賣れ殘りになつて居る本を見る程、切なくも不愉快なことはない。

玉置と、まるで自分の娘のやうだなあと云つて笑つた。けれど多以良と大阪屋號に殘つてゐる本を思ひ出しては、何としても笑ひ切れなかつたこの氣持ち。

今日、森野に偵察に出かけてみた。

一昨日の晝に高木が一人行つて置いて來たのだ。昨日の朝今村が行つた時に一册賣れてゐた、と、そんな事を考へながら行つたのだ。

人に氣付かれないやうに數へてみる。おや二部賣れてるぞ。と思つて內心不思議な氣持ちで微笑んで居ると、散切りの先日來た時に對峙して粘つた店員が、にやにやして僕等の廻りをうろつく。調子が惡いので賣れるかいときいてみる。

凍土は賣れますねえ！と云ふ。今數へたばかりで二部しか賣れてないと知つてるので　その様な感嘆詞にちよつと不愉快になる。けれど、どうせ賣れまいと思つてる本が不思議に毎日賣れるので、きつとそんなに思つたに違ひない。で「さうかい」と僕が云ふ。

未だ次は出ないかつて待つてる人が居ますよ。それに旅行者が寄つて買つて歸りますからねえ。とあまり得意にもなれないことまで云ふ。でもまあ賣れる方が好いに違ひない。

それにしても、大膽隔月刊行のつもりなのだが、未だ定期刊行物の認可もとれないうちなので、購讀者には發行日の不定や、題號の變更で非常に濟まないと思つて居る。

實際僕達の雜誌すら待つてくれてる人が一人でも居ると思ふと、嬉しい。その様な人に對してでも同人は益々決意を固くする。

他の人達も僅か二十錢だからまあ無際の聲援のつもりで買つて頂きたい。同人の友人知人は義理にでも一部買つて欲しい。恩に着て咖啡でも御馳走しますよ。

どうもこんな廣告めいた事を書くには、さも强さうに、亂暴に書かなくては正氣の沙汰では書けはしない。だから、まあ誰か知つてる人がこの文章を讀んでも僕の顔とみて、にやにやしないで欲しい。」

學藝消息

△新日柳壇次回課題　「病氣」「馬車」各五句吐　〆切一月三十一日

新刊

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部寄送附相成度し（係）

△最新名作軍歌及愛國歌謠集　愛國行進曲、國民讚歌、皇軍勝戰の歌、進軍の歌、日本陸軍、軍艦マーチ、戰友婦人從軍歌、國防婦人の歌白衣の勇士、外鮮文時局歌八篇等六十五歌滿載。（發行所京城府寬勳町一二一、三文社書店、振替京城九七五六番、定價金十錢）

△國民法律顧問（一月號）竹下正雄「法律と人生」時效の話」掲載（東京市荒川區尾久町五ノ一一八一、國民法律顧問會、二十錢）

●醫學博士　中村榮・仁藤隆作・兩先生　推奬

眼疾を防ぎ視力を護る

スマイル

この容器！

眼疾の治療と豫防！視力の明朗化

スマイルは眼科藥として最新鋭を誇るもの、その快適なる治療作用は、結膜炎、角膜炎、トラホーム、眼精疲勞等の眼疾に奏効して着々と眼内異狀を去ります。眼の疲勞充血を恢復する作用が優れ、又視力を明快にして、視覺的能率を向上せしめます。點眼感頗る爽快にして無刺戟、些かも副作用がありません。近代人の視力保全に眞に好適の眼科藥であります。

間斷なく酷使される眼には適切な處置が必要

近代人の視力が低下しつゝあることは嚴然たる事實です。而もその原因が眼の極端な「疲勞」にあることは既に專門醫家の指摘する處であります。

事務室に　研究室に　工場に　教室に於て休養の暇もなく酷使される眼に對しては、それ〲適切な健眼工作を必要としますが、その最も簡便有効な方法として推奬されるのが疲勞恢復に効ある眼科藥スマイルの活用であります。スマイルはその獨自の消炎及び收斂作用によつて、眼の過勞による炎症及び充血を消退し、眼の疲勞を恢復せしめ、同時に視神經の異常昂奮を鎭めて、視力を明快ならしめます。眼疾の治療と豫防に効あるは勿論言を俟つ迄もありません！

(定價)　二十五錢・四十五錢・八十錢　藥店・百貨店藥品部にあり

總代理店　株式會社　玉置商店　東京市日本橋區本町　大阪市東區道修町

日滿傷痍軍警に政府が職業輔導
優先權を與へ生活を安定
近く委員會を設置

滿洲國政府に於ては官吏、軍人、軍屬等にして公務の爲死亡又は傷痍を受けたるものについては既に官吏恤金法により救恤を行ひつゝあり、更に近く戰時事變に際し優遇する軍人、軍屬の戰死者及び傷痍者に對する特別恤兵制度を制定實施する事に決定した事は既報の通りであるが、今般更に軍人及び警察官等にして戰時事變に於る戰闘、討匪その他の公務により傷痍を受けたるものを優先的に政府又は會社等に採用し以つてその職業輔導に遺憾なきを期するため政府においては近日中各部局及び關係會社首腦者を打つて一丸とする傷痍軍警職業輔導委員會を設置し傷痍軍警の輔導事業に着手することを交渉中である、殊に本職業輔導事業は日滿共同防衞の見地より傷病を受けたる日本國軍人についても同樣に取扱はるべく從つて本事業は日滿軍人及び警察官等をしてその士氣を鼓舞し一意公務に邁進せしむると共にその生活を安定せしむる上に與つて大いに力あるべく本傷痍軍警職業輔導委員會の活躍は時局柄大いに期待されてゐる

番犬お手柄 忍び込みを捕ふ

廿六日午後九時頃特別市清和胡同一〇四、植村輝雄氏方倉庫に於て突如番犬のたゞならぬ鳴聲を耳にした植村氏は直ちに現場に馳せつけたところ倉庫內に潛伏する怪しい人影を認め矢庭に飛びついて格闘の末庭前に組伏せ白菊町派出所に急報かけつけた署員と共に逮捕したが、右は山東省生れ住所不定無職唐起順(三〇)で同夜家人の隙を伺ひ垣根を越へ倉庫の鍵を破壞侵入して物品物色中を番犬に發見され未遂で逮捕されたもので、犯人は目下中央通署にて餘罪嚴重取調べ中である

チンピラ掏摸 一味捕る

廿七日午後二時頃特別警戒のため中央通郵政局內に於て警戒中の中央通署員が雜沓する人込みに擧動不審の滿人少年四名を發見本署に連行嚴重取調べたところチンピラ一團は治安部馬丁及同食堂配達人、郵政局配達人の件特別市東小六馬路二四號張萬林(一四)同弟張萬泉(一一)西六馬路三七號曹子厚(一二)東六馬路八六號劉文學(一二)で郵政局その他群衆の雜沓する場所に出入掏摸を働いた一味と判明したが、被害僅少であり尙年少者のため父兄を召喚嚴重戒告の上釋放した

滿鐵辭令

(奉天鐵道局)
新京機關區運轉主任 職員 中村清造
奉天鐵道局新京在勤を命ず
新京機關區運轉助役 職員 丹羅一
四平街機關區鐵嶺分區運轉主任を命ず
奉天鐵道局運送課 職員 山村九十九
新京機關區運轉主任を命ず
(各通一月二十二日)

克山病の正體は一酸化炭素の中毒?
民生部、豫防法研究

若い婦人に限つてころりくと死ぬといふ恐るべき滿洲特有の克山病に就いては各方面で研究を進めてゐるが、最近に至り多期室內に於ける一酸化炭素の中毒に依るものであると大體學者の意見が一致してゐる模樣で、民生部保健司防疫股でも曩に全滿各省に對し克山病及び疑似患者の調査方を指令したが、調査が纏り次第早速滿洲衞生委員會を開催し克山病の病源豫防對策等について協議研究をなすことゝなつた

建國祭をトして青年辯論大會
時局認識徹底 滿鐵社員會主催

滿鐵新京支社福祉係では曾田主任自ら陣頭に立つて愛國運動の强化に大童となつてゐるが社員會青年部では二月十一日建國祭をトし在京滿鐵青年社員をすぐつて西廣場社員俱樂部で青年辯論大會を開き時局認識徹底の烽火をあげる準備を進めてゐるが當日は愛國行進曲の大合唱を行ひ大いに愛國熱を高暢させる豫定である

國軍凱旋式 郭侍從武官より聖旨傳達

【奉天國通】凱旋部隊を迎へた國軍〇〇部隊では廿七日午前十時步兵第一團營庭で凱旋式を擧行した、この日特に畏きあたりより御差遣の郭侍從武官より全部隊に對し聖旨を傳達しこれに對し美崎司令官全軍を代表して有難き聖旨に奉答、終つて于治安部大臣より褒狀を授與、ついで美崎司令官は出動中戰傷歿の將士に對する慰靈の辭と共に將來の奮闘を誓ふ訓示を全軍に與へこゝに嚴肅な凱旋式を閉ぢた

革新方針を協議 初等學校長會議

新京特別市日本學校組合最初の初等學校長會議は廿七日午後一時より滿鐵新京支社會議室で開催、教務部より成田教務課長、下田庶務課長、大貫辻、柏原視學官等、學校組合より關屋組合長、平井主事等の臨席を得て先づ植田全權大使の訓示(大貫視學官代讀)があつて成田教務課長より更に大使訓示に敷衍した挨拶が有つて滿洲における小學校教育の精神を明示して後會議に移り教育革新の根本となる新機構の詳細な說明があつて、次いで各校長よりの質疑應答を重ね幾多の教育革新に當面する問題を協議して同五時終了、更に一同ヤマトホテルに移り懇談會に入つた

建國記念日に於る張總理の致詞 レコードに吹込み

來る三月一日の建國記念日に當つて張國務總理の肉聲を全國の省、市、縣などの諸官廳の職員に聞かせるため國務院弘報處ではかねて張總理のレコード吹込みを計畫してゐたがこの程吹込機の設備も整つたので總理は廿七日午前十一時から弘報處において「建國六周年記念日に當つて詞を致す」と題して非常時局に對應すべき國民の覺悟と日滿關係の緊密化を强調してレコード兩面に吹込みを行つた、このレコードは東京に送つて二月中旬までに作成、約三百枚を全國に配布する筈である、なほ星野長官も午後四時から同樣主旨の吹込みを行つた、【寫眞上は張總理吹込み下は星野長官】

五年生以下の兒童の通學區域を整理
近く七校の割當決定

新京特別市日本學校組合の本年新學期就學兒童受付は二十五日締切られ全部で千三百十四名となり豫定の千五百名に達してゐないが、締切後の屆出が續々有る模樣で結局豫定數に達する見込である、此の割當は西廣場校三百名、白菊校八島校各二百五十名、室町校櫻木校各二百名、三笠校順天校各百五十名の豫定で臨んでゐるが、通學區域は明確に區別して從來の混亂を整理する方針であつて、これと共に現在各校とも遠隔な方面よりの通學兒童が相當居りバス通學其の他種々不便な點があり殊に中には市內中心地の學校に通學させてゐる事を誇りとしてゐる單なる親の虛榮心の爲に遠くより通學してゐる兒童も居るので七小學校共完成された施設を以て同樣の教育をしてゐることゝ故訓育上にも不都合で有るので此が原因となつた最近數年間の學校新設及び人口增加に依る頻繁な轉校も落着いた今日此の變態的狀勢を整理する必要有りとして、新學期よりは六年生となる兒童を除いて五年生以下は全部定められた通學區域の學校へ通ふこととして現在の該當兒童の詳細な調査を各校共に行ふことになつた

殉職鈴木記者 新京で社葬

鈴木國通從軍記者の壯烈なる殉職の報一度傳はるや星野總務長官、堀內弘報處長を始め同盟岩永社長等より懇篤なる弔問ならびに弔電があつたが生前鈴木記者の人と爲りを愛してゐた板垣中將も同君の殉職を痛惜し、鄭重なる弔電を廿七日國通本社に寄せられたなほ滿洲國通信社においては鈴木記者の功勞に酬ゆるため社葬の禮をもつてすることゝなり、目下葬儀委員の間において打合中であるが、すみえ未亡人の新京着をまつて大體二月四、五日頃新京において執り行ふことゝならう

先生達にスケート講習

戶外週間は滿都の人氣を浚つて全國都人が、スケート中心に戶外へと健康の謳歌を續けてゐるが、小學校兒童の指導に當つてゐる先生方の中にはまだ上手であると言へないお方が多數有るので新京特別市日本學校組合で先生達のスケート講習會を廿五日から商業學校、西公園兩リンクで開いた、各小學校から集つた約六十名の先生が午後二時から五時まで商業中島教諭、敷島高女押田教諭等を講師として廿五日はスピード、廿六日はアイスホッケー、廿七日はフイガーをと熱心に講習を受けて比の指導者を指導する講習會は好成績に終つた

滿鐵舊正休み

滿鐵では來る三十一日は陰曆元旦に當るので休業することに決定した、なほ二月中の執務時間は午前九時半から午後四時半までゞある

故坂本准尉の告別式執行

山縣部隊では去る二十三日懷德縣下の匪賊討伐に勇躍奮闘名譽の戰死をとげた同部隊故陸軍步兵准尉坂本英夫氏の告別式を二十八日午後三時三十分より通京線范家屯小學校に於て嚴肅に執行する

體力測定四日目

戶外週間運動に沿ふ體力測定第四日目二十七日もニッケギヤラリーにて行はれ、相變らず多數測定希望者で好成績を收めたが當日の優秀者は次の通りである、なほ本二十八日は會場ニッケの定休日につき一日休止する

▽握力=男一A級二十九キロ菅原春彥、B級八十七キロ藤井貞明、七十三キロ李懷碧、C級一四八キロ加藤武三、一一二キロ李寶成、D級一三三キロ北村直二郞、E級田上來造 女子A級二十二キロ藤原菊根、B級五十二キロ王瑳坤、C級七十二キロ一志傳子

▽背筋力=男子A級三十五キロ菅原春彥、B級二〇四キロ藤井貞明、同九十五キロ李懷碧、C級二四一キロ佐藤武三、同一六五キロ張松亭C級二二〇キロ西成田得藏E級一三三キロ田上來造 女子A級藤原菊根、B級七十五キロ王瑳坤、C級一一三キロ一志傳子

新興滿洲國の名譽領事を希望
駐伊 サンマリノの一外交官が

葡萄實る南歐一小國の外交官が極東の新興國滿洲國が愈よイタリーと正式外交機關の交換を行ふ事となり近くローマに公使館を開館すると聞き「是非自分を初代の名譽領事に任命して貰ひたい」とはるばる外務局宛書翰を寄せ當局者を面喰はせてゐる、新春早々のこの明朗主人公はヨーロッパ最古の一小共和國サンマリノの外交官で現在イタリー、ゼノアの駐劄領事を勤めるルジ・グママチカと云ふ人、書翰の要旨は將來滿洲國は公使館に次いでゼノアにも領事館を置くやうになると思ふがその節には是非自分が兼任の名譽領事を拜したいから宜敷しく賴むとあり外務局では未だ初代ローマ駐劄公使の着任もみてゐない今日、これは餘り氣早や過ぎると首をひねつてゐるが氏の認識ある好意に對し感謝しつゝ取敢へず鄭重に之を謝絕することになつた、サンマリノ共和國を一寸紹介するとアドリア海に面するイタリーの保護國で人口一萬三千、面積九十八平方キロといふ地圖で見るとイタリーの一都市位に見えるがこれでも歐洲では一、二を爭ふ古い歷史のある國である

植田大使動靜

【大連國通】滯旅中の植田全權大使は廿七日朝沙河口神社に參拜、大村滿鐵副總裁の案內で滿鐵沙河口工場を視察、午後は大連機械を視察して夕刻宿舍星乃家に投宿した(關東軍許可濟)

陸軍省兵務局長 今村少將に決定

【東京國通】陸軍省兵務局長の後任は廿七日附で左の通り發令された
陸軍少將 今村均
補陸軍省兵務局長

重役樣も減俸
閑職、兼職者の高給は不合理
餘力あげて事業へ

滿洲國の特殊會社では國策事業においては配當を出來るだけ制限してその餘力を事業につぎ込まうといふ意味から從來株主に對する配當に對して暗默の制限が加へられて來たが、今度これと同じ樣な趣旨の措置が執られることになり注目されてゐる、すなはち今まで各會社の重役の俸給は概ね年俸一萬圓內外であつたが重役のうちには閑職或は兼職の者も相當あるので、これに高給を與へるのは不合理だとの理由から常務以外の理事、監事の俸給は千圓乃至二千圓程度の少額に減ずべしとのお達しが政府から各社に對して發せられたので、各社とも所定の手續を經てこれを決定することゝなつた、尤も右は必ずしも重役俸給の絕對的減額を意味するものではなく、實際に仕事をする重役に對しては、その仕事に應じて何等かの名目をつけて手當を支給することゝなるべく、重役の實際收入がどれだけ減額されるかは疑問であるが、何れにしても資金を出來るだけ事業に

京圖線 葦子溝 磨盤山 間で旅客列車大脫線
負傷者七名を出す

【吉林國通】廿七日午前七時五十五分羅津發新京行第二〇二號國際急行旅客列車が午後一時四十分頃京圖線葦子溝磨盤山間(新京起點四九七キロ)に差かゝるや突如異樣の音響をたて後方に連絡された三等車、食堂車、一、二等車各一輛計三輛が脫線せるため大騷ぎとなり圖們、延吉方面より直ちに救援列車が急派され復舊作業に着手したが、この脫線事故のため一、二等乘客大連國際運輸楠田竹樋、新京帝國製紙工場平頭清男兩氏、敦化日滿パルプ工場岡村某氏、食堂車日人從業員三名外日人一名合計七名負傷せるため直ちに延吉病院に收容目下手當中である、なほ右脫線原因、復舊時間その他につき目下調査中

脫線原因は路線の凍結か?

【奉天國通】總局に達した報告によれば、京圖線急行二〇二列車脫線事故負傷者は一等乘客一名、二等乘客四名、食堂市從業員二名計七名で何れも生命には別條なき模樣である、負傷者全部を朝陽川に下車せしめ手當中である、脫線原因は未だ判明しないが線路の凍結によるものとみられる急報により午後三時十五分圖們より救援列車を現場に急派したが、目下のところ復舊の見込み立たず

九里課長急行

【奉天國通】京圖線旅客列車脫線乘客七名の負傷を出したとの急報により總局よりは取敢へず九里旅客課長が午後五時廿分發ひかりで現場に急行し負傷者を見舞ふ事となつた

戶口調查打合會

旣報國都新京の一齊戶口調查は首都警察廳警務科に於て鋭意準備計畫中であつたが、愈よ二月二十日より末日までに實施に決定これが具體的實施案につき二十八日午前十時本廳講堂にて本廳警務科各署警務係員及特別市公署行政科員等關係者參集の上第一回打合會を開催する

本紙掲載の「滿鐵附屬地卅年史」は評判が良いが、殊に最近の新京商業沿革史は名文として教育界に好評を博してゐる▼これを執筆する時どの先生もむづかしがつて引受けないので山住教諭が歷史擔當だといふばかりで押付けられてしまつた先生まだ學校へ來てから一年半だといふのに卅年史をかゝせるのかとぼやきながらもまだ新家庭ほやくのベターハーフに侍られて向ふ鉢卷で書き飛ばしたのがあの名文▼「山住」の二字を「畫」の一字にあわてて讀違へて「君の學校には牛島人の教師が來たのかね」と問ふた失禮な方が居つたさうだが、コレコレそんなこと言ふと奧さんに怒られます、立派な大和民族ですぞ、もつとも酒を飮むと少々トラになるさうだが

天氣
けふの天氣 南西の風晴後曇
日の出 前八時一分
日の入 後五時四二分
きのふの寒溫 最高零下一五度五 最低零下[illegible]度一